

ハードディスクレコーダー DVR-S120

取扱説明書

このたびは、セレン製ハードディスクレコーダー【DVR-S120】をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しくお使いいただくため、事前に本書をよくお読みになり、十分ご理解のうえご使用ください。
お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

1 お使いになる前に P.4

安全上のご注意	P. 4
使用上のご注意	P. 6
本製品の特長	P.10
各部の名称とはたらき	P.11
基本的な接続例	P.12

2 使用を開始する P.13

すぐに使える“DVR-S120”	P.13
ライブ画面について	ライブ画面／ライブ画面上のマーク表示について P.14 ライブ画面の切り替え（4分割画面表示／単一画面表示） P.15 画面自動切替機能 P.15
基本的な操作方法	操作ボタンについて P.16 メインメニュー画面を表示する（設定を確認・変更する場合等） P.17 再生メニュー画面を表示する P.17
はじめに設定しましょう	1. 動きのスムーズな映像を録画する P.18 2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす P.20
いろいろな機能	P.21
録画の停止・再開について	手動で録画（録画待機状態）を停止する P.22 電源を切る（移設の場合等） P.22 手動で録画待機状態にする（録画する） P.23
初期設定の内容	P.24

3 再生する P.25

再生メニュー画面について	再生メニュー画面の表示方法 P.26 再生メニュー画面上のマーク表示について P.26 再生メニュー画面の切り替えについて P.27
日時指定再生する	P.28
リスト再生する	P.29
再生中のボタン操作について	P.30

※取扱説明書の画面はイメージです。

※製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合がございます。

4 各項目の設定

P.31

カメラ設定

- ・カメラ設定画面を表示する P.32
 - └ カメラ機能／録画 P.33
 - └ ライブ画面を隠す／切替時間 P.34
 - └ 色調整 P.35

録画画質 P.36

録画フレーム設定 P.38

録画スケジュール P.40

動体検知設定

- ・動体検知設定画面を表示する P.42
 - └ 断線検知ブザー／検知感度 P.43
 - └ 録画時間／動体検知ブザー P.44
 - └ 動体検知範囲 P.45

システム設定

- ・パスワードの設定 P.46
- ・時間設定 P.49
- ・録音設定（録音・消音） P.50
- ・録音設定（音声入力・音声出力） P.51
- ・初期設定 P.52

ハードディスク設定

- ・ハードディスク情報の確認 P.54
- ・上書き P.55
- ・フォーマット P.56

5 パソコンで再生する

P.59

- データをバックアップする P.60
- バックアップデータの再生
 - パソコンの推奨動作環境／パソコンの準備 P.62
 - パソコンでの再生方法／操作ボタンについて P.63
 - 右クリック操作項目 P.64
 - 静止画データの作成 P.65
- AVI 形式データの作成 P.66

その他

P.67

- 故障かな？ と思ったら... 68
- 主な仕様 70
- 保証（保証書） 71

付属品の確認

本製品には、下記の付属品が同梱されています。

ご使用の前に、下記の付属品が揃っているか内容をご確認ください。

- | | | | |
|------------------|-----|----------------------|-----|
| ■ 本体 | × 1 | ■ ビデオケーブル | × 1 |
| ■ 専用 AC アダプター | × 1 | ■ PC ビュアーソフト（CD-ROM） | × 1 |
| ■ 電源ケーブル | × 1 | ■ 取扱説明書（保証書付き） | × 1 |
| ■ BNC-RCA 変換コネクタ | × 5 | ■ クイックガイド | × 1 |
| ■ リモコン（テスト用電池付き） | × 1 | | |

安全上のご注意 (必ずお守りください)

○お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくため、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の意味
 警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
 注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。

図記号	図記号の意味
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	指示する行為の強制(必ず実行していただく)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 警告	
 指示 煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!! 異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。	 分解禁止 キャビネット(天板)をはずしたり、改造したりしない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店にご依頼ください。
 水ぬれ禁止 花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。	 禁止 内部に異物を入れない 通風口や排気口から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
 ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。	 禁止 不安定な場所には置かない ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
 禁止 落としたり、キャビネット(天板)を破損したりした場合は使わない 火災や感電の原因となります。	 禁止 電源コードを傷つけない ●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない ●束ねない コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり、断線したりするなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。
 接触禁止 雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない 感電の原因となります。	

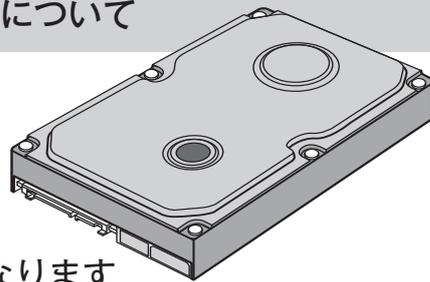
 警告	
 指示 コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない 交流 100V 以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流を超えて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。	 指示 電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。また、傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
 指示 AC アダプターなどは、付属又は指定のものを使う 指定以外のものを使用すると、電圧・電流値や+-の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。	 指示 AC アダプターを抜き差しするときは、コードを持って引っ張らない コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、火災や感電の原因になります。

 注意	
 禁止 湿気やほこりの多い場所に設置しない 火災や感電、故障の原因になります。	 指示 長時間使用しないときや、お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜く 漏電、感電の原因になります。
 禁止 振動や強い衝撃を与えない 火災や感電、故障の原因になります。	 指示 本製品（付属品含む）は屋内専用です 屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。
 禁止 通風口をふさがない ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない 通風口、排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。	 指示 本製品は日本国内専用です 放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
 禁止 電池は幼児の手の届く所に置かない 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。	 指示 電池はプラス (+) とマイナス (-) の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる 間違えると電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止 指定以外の電池を使わない。 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 指示 電池を廃棄する場合、テープ等で絶縁する 他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。
 禁止 電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない 電池の破壊・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。	 指示 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す 電池を入れたままにしておくと、過放電・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	 指示 電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

使用上のご注意

内蔵ハードディスク（以下、HDD）について

- 本製品は、精密機器である HDD を搭載しております。本製品の取扱いには、十分ご注意ください。
- 本製品に振動や衝撃を与えないでください。特に通電中や HDD へのアクセス中は、故障の原因となりますので十分ご注意ください。
- 録画・再生の動作中に、電源プラグを抜かないでください。
- 本体の電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。
- 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。HDD に記録されているデータが損なわれることがあります。
- HDD に異常が発生したと思われる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- HDD は、消耗劣化する部品です。使用環境により寿命は異なりますが、+ 25°C の環境でご使用になる場合で、20,000 ~ 30,000 時間を目安に交換してください。**
(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、寿命を保証するものではありません。)
- HDD の交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 故障の早期発見のため、定期的に録画再生の確認をされることをおすすめします。



本機を使用した監視システム構築上の注意

- ・本機を使用して監視システムを構築される際には、事前に他の機器との接続や組み合わせによる動作確認を行った上で、ご使用になることをおすすめします。
- ・大切な記録の場合は、必ず定期的にコピー／バックアップをとられることをおすすめします。
- ・万一、本機の不具合により監視システムの動作エラー、記録データの消失、その他の損失が発生した場合、当社はその補償や責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・記録動作中にコンセントを抜いたりブレーカーを切ったりすると、ハードディスクが故障したり、記録したデータが再生できなくなる恐れがあります。

大切な記録の保存について

- ・必ず事前に記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。また定期的に確認を行い、正常に録画されていることを確認してください。
- ・正確な記録を残すために、定期的（1ヶ月に1回程度）な日時の確認・設定をおすすめします。
- ・本機を使用中、本機もしくは接続機器等の不具合により、記録されなかったり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをおすすめします。

使用電源について

- ・使用電源は AC100V です。
- ・付属の電源コードは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。
- ・消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用場所について

- ・本機は屋内専用です。また、以下の場所には設置しないでください
 - 直射日光の当たる場所
 - 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
 - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
 - 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
 - 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - 傾斜のある場所
 - 水滴または水沫のかかる場所
- ・横置き（水平）に設置してください。縦置き、傾けての設置など不安定な場所に置いて使用すると、HDD などの故障の原因となります。

長期間使用しない場合の対応について

- ・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1 週間に1 回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。
- ・使用を再開するときは、必ず日時を確認・設定の上、ご使用ください。

結露について

- ・故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は次のような場合です。目安として電源を入れるまで2 時間程度放置してください。
 - 湿度の高いところ
 - 暖房した直後の部屋
 - 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

機器を廃棄または譲渡される場合

- ・HDD 内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

使用温度範囲について

- ・この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、内蔵 HDD は特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

動体検知機能について

- ・本機に搭載されている動体検知機能は、入力される映像信号の状態などにより、誤動作する場合があります。
- ・以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。
 - 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない
 - 夜間など、映像の輝度が低い
 - 被写体の動きが遅い
 - 被写体が小さい
 - 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい
 - 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る
 - 蛍光灯がちらつく
 - 被写体に奥行きがある
- ・動体検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しない場合や誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

雑音源は避けてください

- ・電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本製品の位置を変えてください。

外部機器について

- ・本製品には、USB メモリでのコピー機能が搭載されています。
- ・本製品に接続する外部機器については、実際の運用前に必ず確認をしてご使用いただくようお願いいたします。
- ・ご使用になりたい外部機器が運用方法に適さない場合があります。販売店にお問い合わせしていただくことをおすすめします。

1 使用上のご注意

その他

- ・殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ・許容周囲温度を必ずお守りください。
- ・移動させるときは、録画・再生を停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。動作中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品やHDDをいためることがあります。
- ・移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。
- ・本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合がございます。

お手入れについて

- ・お手入れは電源を切ってから行ってください。
- ・キャビネットの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたしたあとよくしぼった布で汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ・ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

免責について

- ・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は、一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・商品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の保護について

- ・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※ 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

著作権・肖像権についてのご注意

- ・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのみご使用に限られますのでご注意ください。

輸出制限について

- ・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

用途制限について

- ・本製品は、一般家庭・店舗用を意図として設計・製作されています。
 - ・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
- ※ 高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

商標および登録商標について

Microsoft®、Windows®、Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vista、Windows® 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。）

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

（なお、本文中では「®」を明記していません。）

PC ビューアソフト使用許諾契約条項

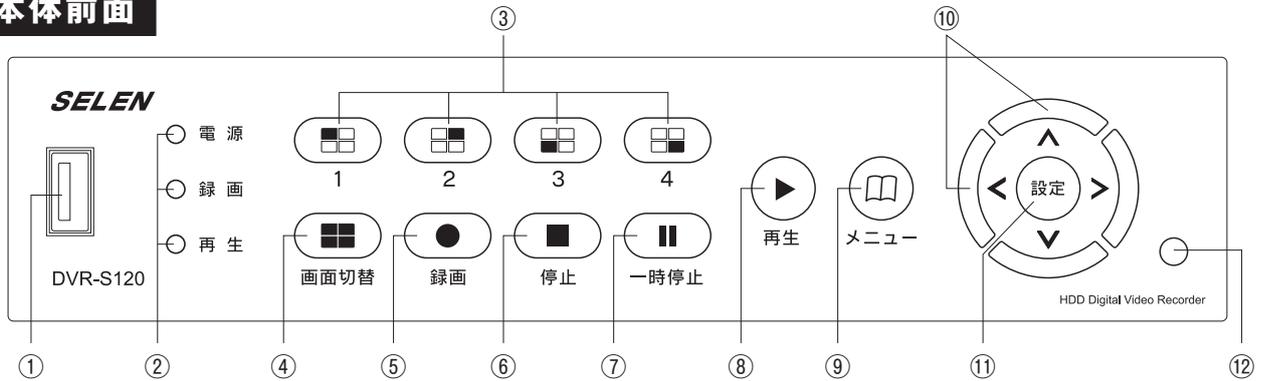
- ・付属の PC ビューアソフト（以下、本ソフトウェア）は著作権およびその他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。
- ・本ソフトウェアは非営利目的に限り、複数の PC にて使用することを許可しています。
- ・本ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- ・本ソフトウェアの使用時に、コンピュータウィルス、スパイウェア、アドウェアまたは悪意のあるファイルがインストールされることはありません。
- ・本ソフトウェアの使用または、使用不能によって生じる逸失利益、データ損失、コンピュータに及ぼす影響、お客様に対し、特別、間接的、付随的または類似の損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- ・本ソフトウェアは変更を加えない限り、非営利目的での配布が可能です。本ソフトウェアの販売、配布することで利益を得ることは許可されません。
- ・本契約は、日本国法に準拠するものとします。

1 本製品の特長

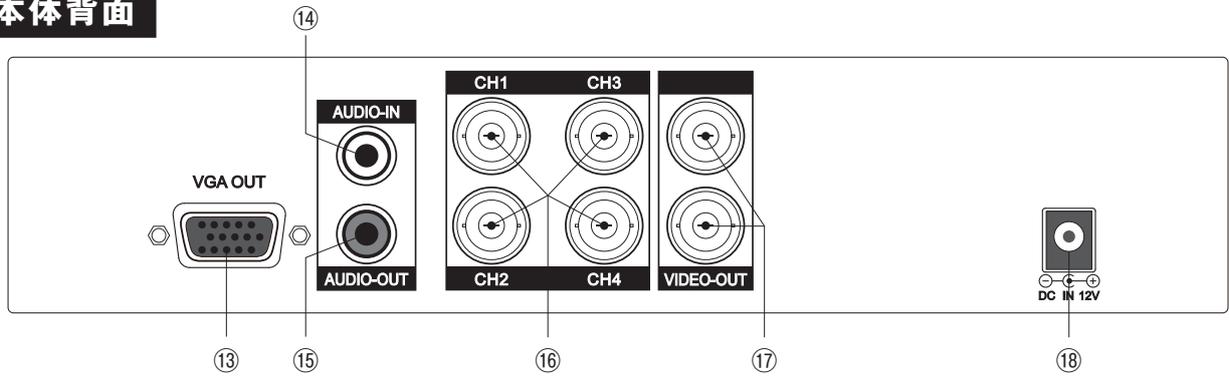
- **同時録画再生機能** ……録画中でも再生・各項目の設定ができます。
- **動体検知録画** ……映像の中の動きを検知して録画を開始できます。
- **カメラごとに5つの設定が可能**
 - ① **録画フレーム設定** ……録画する際のフレーム数の設定ができます。
 - ② **録画スケジュール設定** ……曜日・時間ごとに [連続録画]・[動体検知録画]・[録画しない] の設定ができます。
 - ③ **動体検知設定** ……検知感度・録画時間・検知範囲の設定ができます。
 - ④ **ブザーの設定** ……断線時・動体検知時に、ブザーを鳴らす設定ができます。
 - ⑤ **色調整** …… [明度]・[コントラスト]・[色あい]・[彩度]
- **選べる2つの再生方法**
 - ① **日時指定再生** ……確認したい日時を指定して録画データを再生できます。
 - ② **リスト再生** ……録画データのリストを選んで再生できます。
- **便利なリモコン付き**
- **パソコンで再生可能** ……録画データをUSBメモリにバックアップして再生できます。
- **画面自動切替機能搭載** ……カメラごとの映像を自動で切り替えながら、単一画面で見ることができます。
- **録音機能付き (1系統)**
- **電源・録画・再生の表示ランプ付き**
- **3段階の録画画質設定** …… [高]・[中]・[低]
- **大容量 500GB のハードディスク内蔵**

各部の名称とはたらき

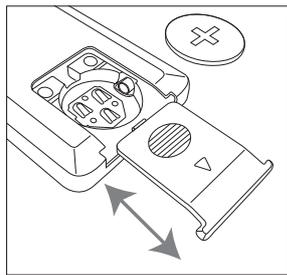
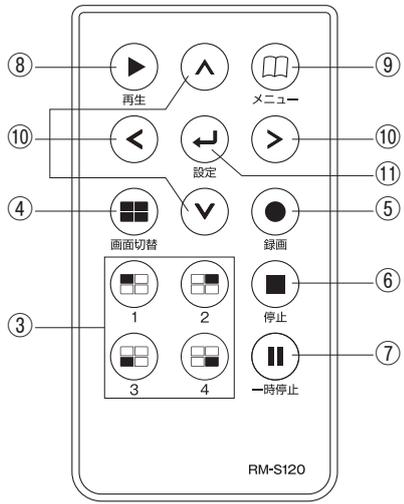
本体前面



本体背面



リモコン

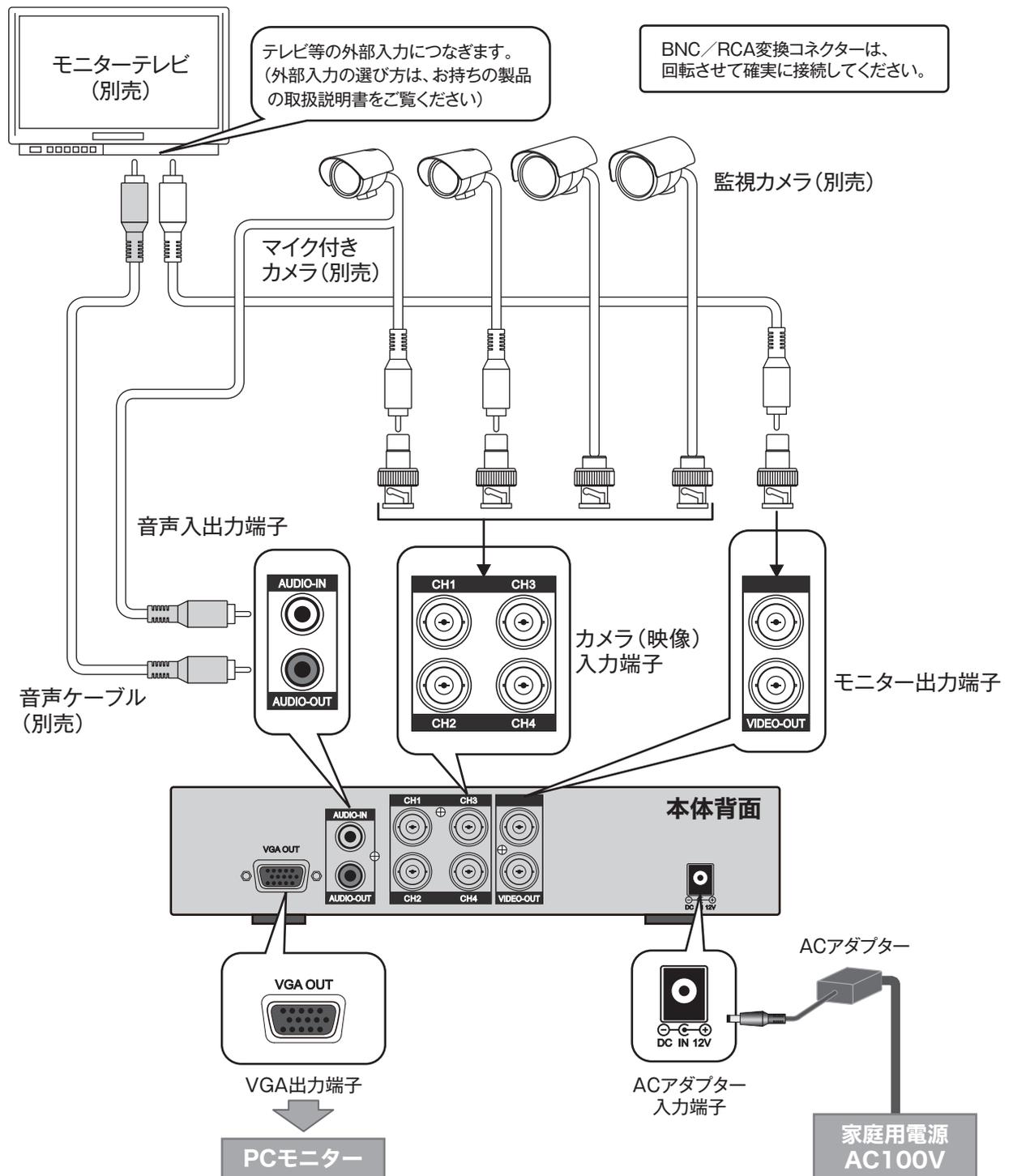


ボタン電池 (CR2025) の入れ方
裏ボタンをスライドさせ、電池の「+」が
上面にくるようにセットしてください。

名称	はたらき	
① USB メモリ差込口	USB メモリを接続する差込口です。	
②表示ランプ	電源：電源が入っている時に点灯します。	
	録画：録画中に点灯します。	
	再生：再生中に点灯します。	
③カメラ切替ボタン	各カメラ [1 ~ 4] の画面に切り替えます。	
④画面切替ボタン	4 分割画面・画面自動切替を切り替えます。	
⑤録画ボタン	録画待機中：録画を開始します。	
	録画中：録画を停止します。	
⑥停止ボタン	録画や再生を停止します。	
⑦一時停止ボタン	再生を一時停止します。	
⑧再生ボタン	ライブ画面時：再生メニュー画面を表示します	
	再生操作時：再生します。	
⑨メニューボタン	ライブ画面時：メインメニュー画面を表示します。	
	操作画面時：「戻る」操作のボタンになります。	
⑩移動ボタン	各項目設定時：それぞれの方向に選択を移動します。	
	再生操作時	[>]：早再生します。(5 段階)
		[<]：早戻し再生します。(5 段階)
⑪設定ボタン	項目を設定します。	
⑫リモコン受光部		
⑬VGA 出力端子	VGA 仕様のモニターや VGA ケーブルを接続します。	
⑭音声入力端子		
⑮音声出力端子		
⑯カメラ (映像) 入力端子	(CH1 ~ 4)	
⑰モニター出力端子	(2 系統)	
⑱AC アダプター入力端子	付属の専用 AC アダプターを接続します。	

基本的な接続例

■ 監視カメラ・モニターテレビの基本的な接続例



- ◆ 同時に4台までの監視カメラを接続することができます。(VIDEO IN BNC端子)
カメラのビデオケーブルがBNC端子の場合はそのまま接続できます。
RCAピン端子の場合は、付属のBNC/RCA変換コネクタを本製品の端子部に接続してから、ビデオケーブルを差し込んでください。
BNC/RCA変換コネクタは、回転させて確実に接続してください。
- ※ カメラの電源は、別途必要です。
- ※ 監視カメラによってビデオケーブルは、別売りになっている場合があります。
- ※ 接続される機器の操作につきましては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

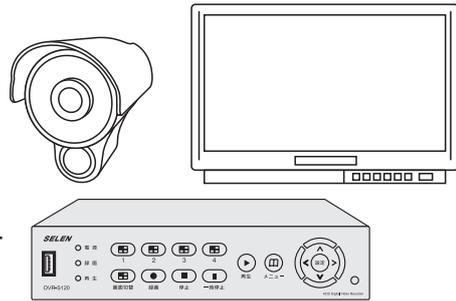
使用を開始する

すぐに使える“DVR-S120”

Step 1

カメラ・モニターを接続する。

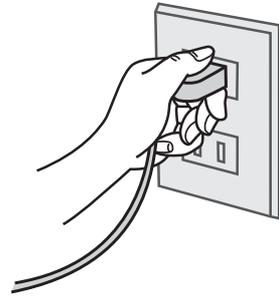
「基本的な接続例」P.12を参考に、監視カメラ、モニターを接続します。



Step 2

電源コード・ACアダプターをつなぐ。

付属の専用ACアダプターと専用電源コードをつなぎ、本体の電源入力端子と家庭用電源コンセント（AC100V）に接続します。



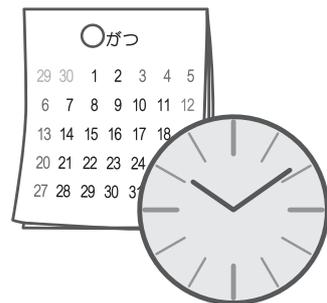
自動的に電源が投入され、システム起動後に録画状態になります。



Step 3

現在時刻表示を確認する。

本製品は工場出荷時に時間を設定しておりますが、使用を開始する際はライブ画面上の現在時刻をご確認ください。また、必要がある場合は、「時間設定」P.49を参照して設定変更を行ってください。



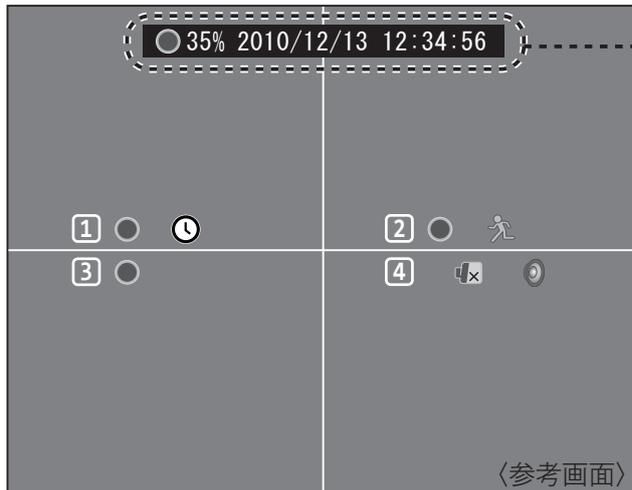
※工場出荷状態の場合です。 ※監視カメラ側から映像信号が入力されていない場合は、録画設定状態でも録画しません。

ライブ画面について

ライブ画面

電源を入れると、最初にライブ画面が表示されます。
接続されたカメラのライブ（現在の）映像を見ることができます。

ライブ画面上のマーク表示について



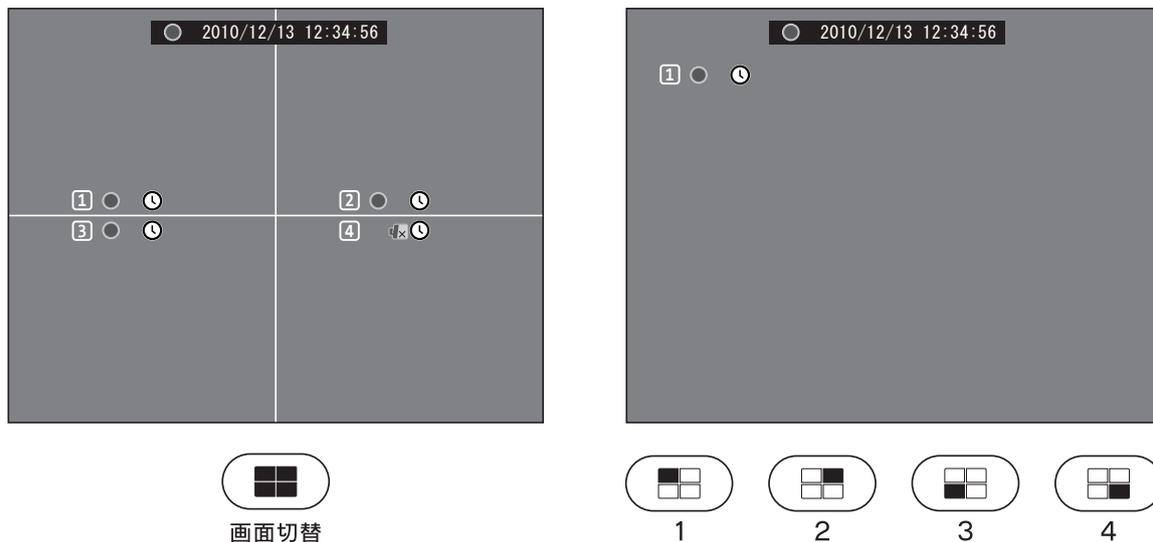
◆カメラ設定(⇒P.32)によるライブ画面の表示状態について

○=表示される ×=表示されない	カメラ機能		録画		ライブ画面を隠す	
	オン	オフ	オン	オフ	はい	いいえ
カメラの映像	○	×	○	○	×	○
断線	○	×	○	○	○	○
スケジュール状態	○	×	○	×	○	○

マーク	表示名	表示の意味
● ※現在時刻の左	録画待機状態	録画が可能である状態の時の表示です。 【注意】録画中の意味ではありません。
00%	ハードディスク 使用率	[ハードディスク設定⇒上書き] 設定を [いいえ] にした場合に、 ライブ画面上にハードディスクの使用率を表示します。 【注意】100%になると録画は自動的に停止します。
🔄	上書き中	上書き録画をする設定になっている時に、ハードディスク使用率が100% を超えて上書き録画中の表示です。
📠	USB	USBメモリが本体に挿入されている時の表示です。
(年/月/日/時間)	(現在時刻)	現在時刻(設定されている時刻)の表示です。
📺	画面自動切替	ライブ画面を画面自動切替している時の表示です。
1 2 3 4	カメラ番号	カメラの番号です。
● ※カメラごと	録画中	録画中の表示です。
📶×	断線検知	映像信号がない時の表示です。
🕒	連続録画	録画スケジュールの状態表示です。 [連続録画]の録画スケジュール設定になっている時間帯です。
🚶	動体検知録画	録画スケジュールの状態表示です。録画時は点滅します。 [動体検知録画]の録画スケジュール設定になっている時間帯です。
🔔	ブザー	ブザーが鳴っている時の表示です。 ※[断線検知ブザー] 設定が[オン]で、映像信号がない時に表示されます。 ※[動体検知ブザー] 設定が[オン]で、動体検知時に表示されます。

ライブ画面の切り替え（4分割画面表示 / 単一画面表示）

ライブ画面は、4分割画面とカメラごとの単一画面に切り替えることができます。
下記を参考にそれぞれのボタンを押して画面を切り替えてください。

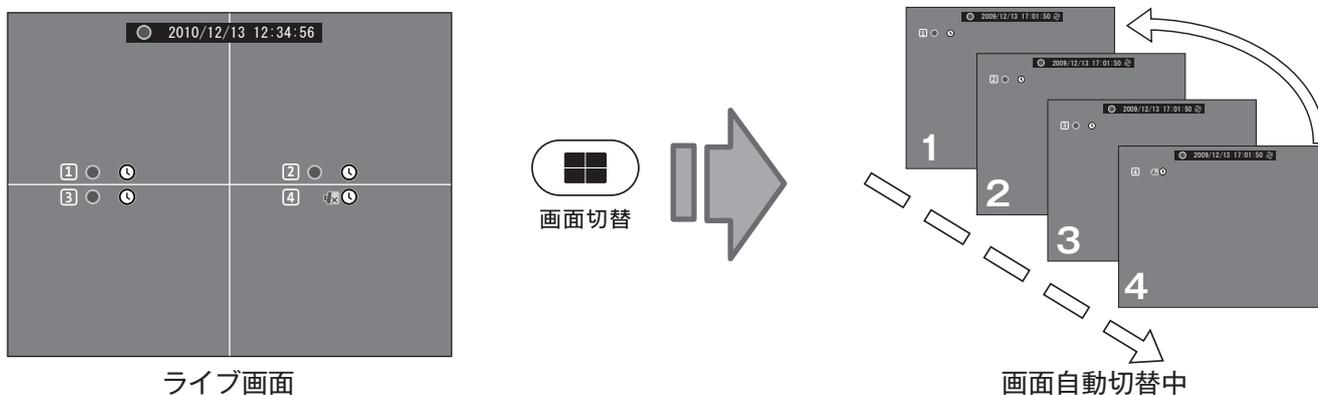


◆接続されていないカメラがある場合は、そのカメラの【カメラ機能】を【オフ】に設定することで断線マーク等を表示させないように設定することができます。
〔設定方法➡【カメラ設定】➡カメラ機能〕 P.32〕

画面自動切替機能

【画面切替】ボタンを押すと、【カメラ - ① ⇒ ② ⇒ ③ ⇒ ④】の順に、ライブ画面を自動で切替表示します。画面自動切替の表示中に【画面切替】ボタン、もしくは【⏪ / ⏩ / ⏴ / ⏵】ボタンを押すと、それぞれのライブ画面に切り替わります。

現在時刻表示の右に「画面自動切替」マークが表示されます。



◆接続されていないカメラがある場合は、そのカメラの【カメラ機能】を【オフ】に設定することで画面をとばして表示させることができます。〔設定方法➡【カメラ設定】➡カメラ機能〕 P.32〕

◆それぞれのカメラ映像を表示する時間の長さを変更できます。
〔設定方法➡【カメラ設定】➡切替時間〕 P.32〕

基本的な操作方法

操作ボタンについて

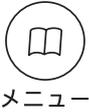
本体ボタン	リモコンボタン	ボタン名称	主な操作内容
 1 2 3 4		カメラ切替	●ライブ画面を単一画面に切り替えます。
 画面切替		画面切替	●ライブ画面を4分割画面に切り替えます。 ●4分割画面時、画面自動切替表示します。
 録画		録画	●録画停止中は録画を開始したり、録画待機状態にします。 ●録画中は録画を停止します。 ※パスワード入力が必要です。
 停止		停止	●録画（録画待機状態）を停止します。 ※パスワード入力が必要です。 ●再生を停止します。
 一時停止		一時停止	●再生を一時停止します。
 再生		再生	●[再生メニュー]画面を表示します。 ●再生を開始します。
 メニュー		メニュー	●[メインメニュー]画面を表示します。 ※パスワード入力が必要です。 ●操作画面表示の際は「戻る」になります。
		移動	●それぞれの方向に移動します。
 設定		設定	●項目を設定します。

★誤操作防止機能について

本体の操作ボタンは、一定時間操作しないしていると、一度押しでは操作できなくなります。ぶつかった時などに誤操作しないようにするためのものです。もう一度操作ボタンを押すと、通常通り操作できます。

メインメニュー画面を表示する（設定を確認・変更する場合等）

1



ライブ画面で【メニュー】ボタンを押します。

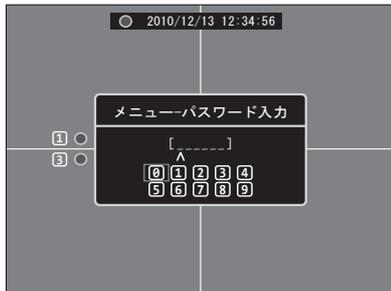
メニュー

2

【メニュー-パスワード入力】画面が表示されます。ボタンで□を移動して数字を選択し、【設定】ボタンでパスワードを入力していきます。

※パスワードの初期設定値「000000」

※入力し直す場合は、【メニュー】ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。



《誤ったパスワードを入力した場合》

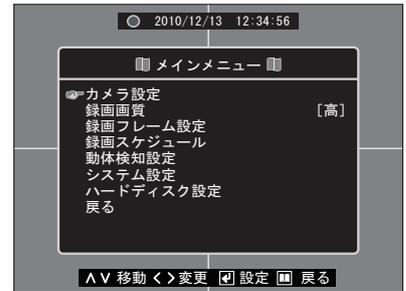
【パスワードが違います】と表示されます。少しすると自動的にライブ画面に戻ります。最初からやり直し、正しいパスワードの入力を行ってください。

※表示中に【メニュー】ボタンを押しても、ライブ画面に戻ります。



3

【メインメニュー】画面が表示されます。
※各設定画面は、前回最終操作時の画面から始まります。



詳しい設定方法については、
「各項目の設定」P.31をご覧ください。

4



【メニュー】ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

メニュー

《設定を変更した場合》

設定変更を行った場合、【メインメニュー】画面上の【戻る】内には【保存して戻る】、【保存せず前に戻る】が表示されます。

その場合、ボタンでどちらかを選択して【設定】ボタンでライブ画面に戻ります。

《注意》

【メインメニュー】画面から【メニュー】ボタンを押してライブ画面に戻ることも可能です。

この操作でライブ画面に戻った場合は、【保存して戻る】を選択した時と同様に、設定は確定されます。

ハードディスク設定
戻る
保存して戻る
保存せず前に戻る

再生メニュー画面を表示する

ライブ画面で【再生】ボタンを押し、【再生メニュー】画面を表示して再生操作を行います。



再生

再生方法は、日時を指定して再生する「日時指定再生」と、録画データのリストから選んで再生する「リスト再生」があります。



日時指定再生

リスト再生

再生方法については、
「再生する」P.25を
ご覧ください。

はじめに設定しましょう

1. 動きのスムーズな映像を録画する

■ [録画フレーム設定] を変更する

初期設定では、4台のカメラそれぞれに録画フレーム数 [15] が割り振られています。

接続しているカメラの数値を変更して、録画フレーム数を [30] に近くなるように増やしてください。

再生時に、よりスムーズな映像を見ることができます。

※ 30 フレームは、1台のカメラに割り振ることのできる最大値です。

録画フレーム設定		
録画フレーム総数 :	[60/60(フレーム/秒)]	
カメラ-①	<	[15]
カメラ-②		[15]
カメラ-③		[15]
カメラ-④		[15]

▼ 録画時間の目安

録画画質	録画フレーム総数						
	60	45	30	15	10	4	1
高	3.4日	4.5日	6.7日	13.3日	20.2日	50.4日	202日
中	4.4日	5.9日	8.7日	17.3日	26.3日	65.6日	263日
低	5.3日	7.1日	10.4日	20.6日	31.3日	78.1日	313日

※録音設定が [オン] で音声が入力されている場合

※ 本製品はカメラごとに録画フレーム数を設定できます。※録画フレーム総数が 60 フレームまで

※ 録画時間の表は、あくまでも目安です。カメラ設置場所の環境や入力される映像の色・明るさ・動き等で録画可能な時間が増減します。

▼ 設定方法

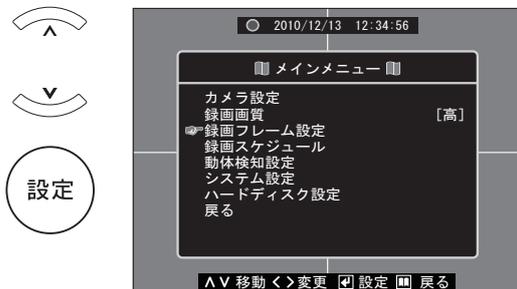
例 カメラを1台、[カメラ-①] チャンネルに接続して、録画フレーム数 [30] に設定する場合。

1

[メインメニュー] 画面を表示します。

→「メインメニュー画面を表示する」P.17

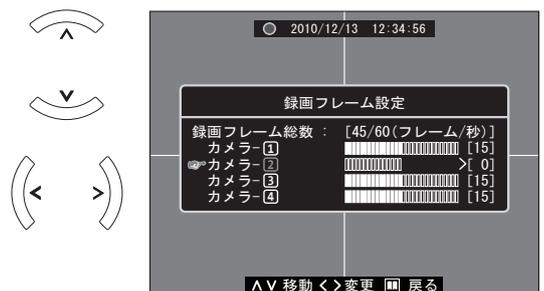
▲▼ボタンで [録画フレーム設定] を選択し、
【設定】ボタンを押します。



2

[録画フレーム設定] 画面が表示されます。

この場合は、▲▼ボタンで [カメラ-②] を選択し、◀▶ボタンを数値が [0] になるまで繰り返し押します。

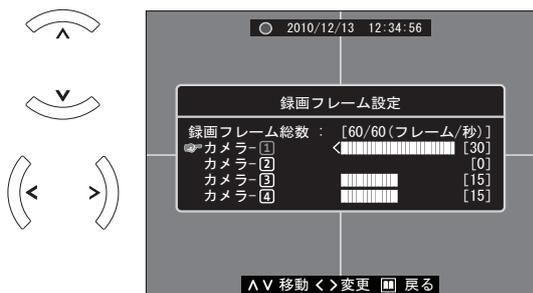


- ※④ ボタンを押すたびに、他のカメラの設定可能なフレーム数の範囲が [] で表示されます。また、設定可能な録画フレーム総数 [60] に対して、使用されている録画フレーム総数が表示されます。
- ※③④ ボタンで変更できる場合は、[] の左に数値を下げられる場合は [<]、数値を上げることのできる場合は [>] のマークが表示されます。

《注意》

使用されている録画フレーム総数が [60] で、設定変更を行う場合は、必要としないカメラの録画フレーム数を下げることが必要となります。

- 3 ▲▼ ボタンで [カメラ - ①] を選択して▶ ボタンを数値が [30] になるまで繰り返し押しします。

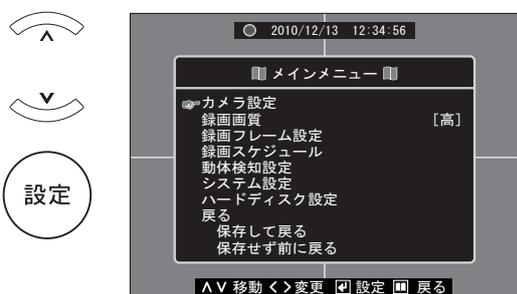


- 4 【Ⓜメニュー】 ボタンを押して[メインメニュー] 画面に戻ります。

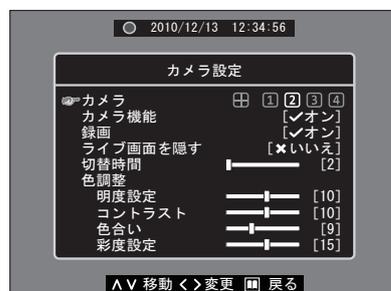
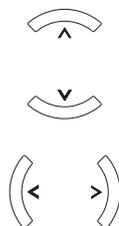


※映像入力がないカメラの断線検知マークを表示させない場合は、操作5~8を行ってください。

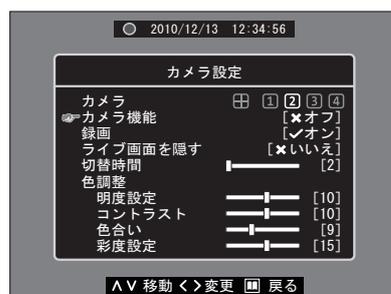
- 5 ▲▼ ボタンで [カメラ設定] を選択し、【⊕設定】 ボタンを押します。



- 6 [カメラ設定] 画面が表示されます。▲▼ ボタンで [カメラ] へ移動し、③④ ボタンで [カメラ - ②] を選択します。



- 7 ▲▼ ボタンで [カメラ機能] へ移動し、③④ ボタンで [オフ] に切り替えます。

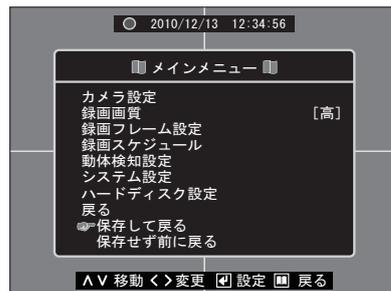


- 8 [カメラ - ③・④] についても67の操作を同様に行います。

[カメラ - ②・③・④] の [カメラ機能] を [オフ] に変更し、【Ⓜメニュー】 ボタンを押します。



- 9 [メインメニュー] 画面に戻ります。▲▼ ボタンで [保存して戻る] を選択して【⊕設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



※P.38 では、別の例で紹介しています。

はじめに設定しましょう

2. カメラの配線が抜けたとき等にブザーを鳴らす

■ [断線検知ブザー] の設定を [オン] にする

カメラの配線が抜けたり、断線した時に本体の警報ブザーでお知らせする機能です。

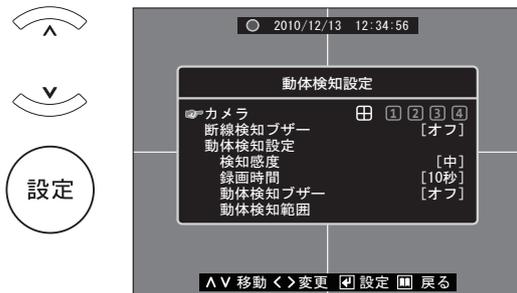
より確実な記録のために、接続したカメラの [断線検知ブザー] を [オン] にすることを おすすめします。

※初期設定では、すべてのカメラが「オフ」に設定されています。

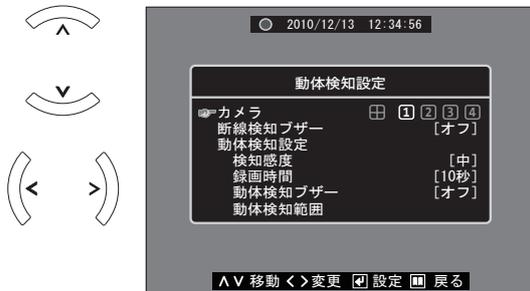
▼ 設定方法

例 カメラを1台、[カメラ-1] チャンネルに接続した場合の設定。

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.17
▲ ▼ ボタンで [動体検知設定] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。

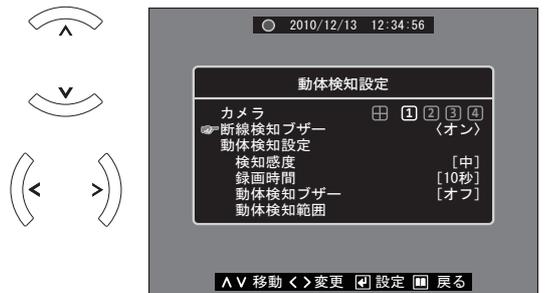


- 2** [動体検知設定] 画面が表示されます。
▲ ▼ ボタンで [カメラ] に合わせ、◀ ▶ ボタンで [1] を選択します。

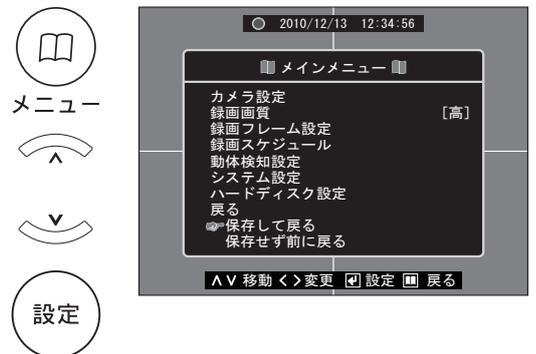


※カメラごとの設定が可能です。
詳しくは、P.42 をご覧ください。

- 3** ▲ ▼ ボタンで [断線検知ブザー] を選択し、
◀ ▶ ボタンで [オン] に切り替えます。



- 4** 【メニュー】 ボタンを押して [メインメニュー] 画面に戻ります。
▲ ▼ ボタンで [保存して戻る] を選択して
【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



《断線検知ブザーの止め方について》

- ① ブザーの鳴っているカメラの映像入力信号を復帰させる。
- ② [動体検知設定⇒断線検知ブザー] の設定を [オフ] に切り替える。(設定方法⇒上記参照、または P.42)

いろいろな機能

便利なポイント	内容	設定項目名	設定方法 掲載頁
特定の時間の録画データを見たい	日時を指定して録画データを再生させることができます。	日時指定再生	P.28
人を検知したときの録画データを見たい	録画データのリストから、検索して再生することができます。	リスト再生	P.29
録画したままカメラ映像を隠したい	録画をしながらライブ画面上にはカメラ映像を表示しない [ライブ画面を隠す] 設定をすることができます。	(カメラ設定) ライブ画面を隠す	P.32
画面の色を見やすくしたい	設置の環境等にあわせて、カメラごとに画面の色を調整することができます。	(カメラ設定) 色調整	P.32
曜日・時間によって録画方法を選びたい	カメラごとに曜日別・1時間単位での [連続録画]・[動体検知録画]・[録画しない] の設定が可能です。	録画スケジュール	P.40
		動体検知設定	P.42
人が来たときだけ録画したい	映像の動きを検知して、録画を開始させることができます。	録画スケジュール	P.40
		動体検知設定	P.42
映像の検知したい範囲を調整したい	動体検知する範囲は、カメラごとに設定することができます。	(動体検知設定) 動体検知範囲	P.42
パスワードを変更したい	任意の数字6桁のパスワードに変更することができます。※初期設定値「000000」	(システム設定) パスワードの設定	P.46
録画データを上書きしたくない	ハードディスクの容量がいっぱいになった時点で録画を停止させることができます。	(ハードディスク設定) 上書き	P.55
録画データをパソコンで見たい	録画データの一部をUSBメモリにバックアップして、パソコンで再生することができます。	パソコンで 再生する	P.59

録画の停止・再開について

手動で録画（録画待機状態）を停止する

主に電源を切る時や、ハードディスクをフォーマットをする時等に使用します。

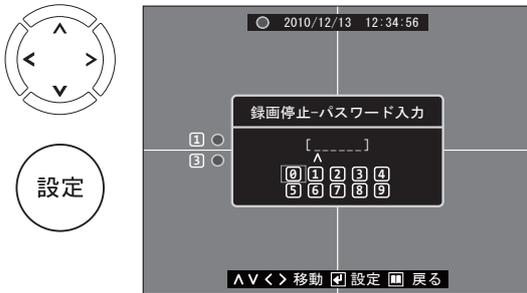
1 【**停止**】 ボタン、または 【**録画**】 ボタンを押します。



2 [録画停止 - パスワード入力] 画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンで [□] を移動して数字を選択し、【**設定**】 ボタンでパスワードを入力していきます。

※パスワードの初期設定値「000000」

※入力し直す場合は、【**メニュー**】 ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。



《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います] と表示されます。少しすると自動的にライブ画面に戻ります。最初からやり直し、再度、正しいパスワードの入力を行ってください。
※表示中に【**メニュー**】 ボタンを押しても、ライブ画面に戻ります。



3 パスワードを入力すると録画が停止します。ライブ画面上の録画待機状態マークの表示が消えていることを確認してください。



《注意》

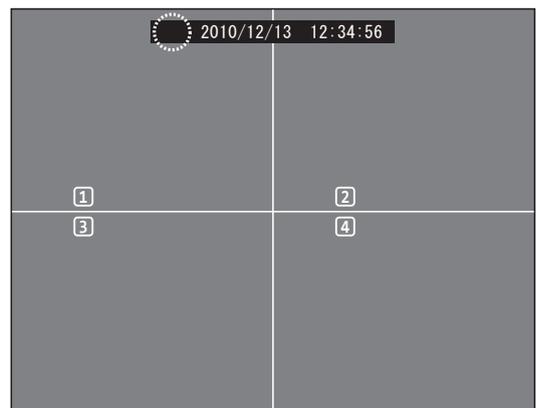
一度パスワードによる録画停止を行うと、その後パスワードによる録画停止操作のロック機能は解除されます。

再び録画停止操作にロックをかける場合は、P.17の「メインメニュー画面を表示する」もしくはP.26の「再生メニュー画面を表示する」をご確認のうえ、一度どちらかのメニュー画面を表示してライブ画面に戻ってください。録画停止操作にロックがかかります。

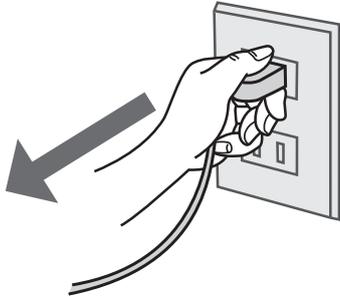
確認のため、録画中（録画待機状態）に【**停止**】 ボタンを押して、[録画停止 - パスワード入力] 画面が表示されるかをご確認ください。

電源を切る（移設の場合等）

4 ライブ画面で録画待機状態マークが表示されていないことを確認してください。



5 ACアダプターをコンセントから抜いて電源を切ります。



《注意》

引越しや移設の場合などで電源を切る時は、必ず録画や再生を停止した後にACアダプターを抜いてください。故障の原因となる場合があります。

《注意》

手動で録画を停止した状態で、ACアダプターの抜き差しを行って電源を切り、電源を入れた時は、起動後、録画待機状態になります。

電源を切った時点の設定内容が保護され、録画を行う設定になっていた場合は、自動的に録画を開始します。

手動で録画待機状態にする (録画する)

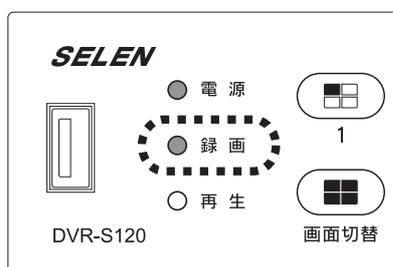
「録画待機状態」とは……

設定内容に従って録画のできる状態です。

■ 録画を行っている場合は、カメラごとにライブ画面上の「録画中」マークが表示されます。



■ 1つのカメラでも録画中の場合は、前面パネルの「録画」ランプが点灯します。



1

ライブ画面上の「録画マーク」が消えている場合は、**【録画】** ボタンを押します。

ライブ画面上に「録画待機状態」マークが表示されたことを確認してください。



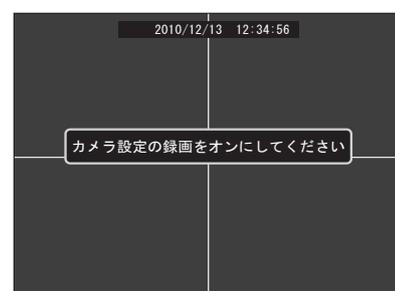
《注意》

【録画】 ボタンを押しても[録画スケジュール]で[動体検知録画]や[録画しない]に設定されていると、録画を開始しません。※[動体検知録画]の場合は、動体を検知すれば設定に従って録画を開始します。

《すべてのカメラの[カメラ機能]または[録画]が[オフ]に設定されている場合》

[カメラ設定の録画をオンにしてください]と表示された後、ライブ画面に戻ります。

録画するカメラの[カメラ機能]と[録画]の設定を[オン]に切り替え、**【録画】** ボタンを押してください。(設定方法→[カメラ設定] P.32)



初期設定の内容

2

使用を開始する
初期設定の内容

設定項目		初期設定値	設定範囲	設定方法 掲載頁	
カメラ 設定	カメラ機能	オン	オン / オフ	P.32	
	録画	オン	オン / オフ		
	ライブ画面を隠す	いいえ	はい / いいえ		
	切替時間	2	2 ~ 30		
	色調整	明度設定	10		1 ~ 20
		コントラスト	10		1 ~ 20
		色合い	9		1 ~ 32
彩度設定		15	1 ~ 32		
録画画質		高	高 / 中 / 低	P.36	
録画 フレーム 設定	カメラ - ①	15	0 ~ 30	※録画フレーム総数 60フレームまで	P.38
	カメラ - ②	15	0 ~ 30		
	カメラ - ③	15	0 ~ 30		
	カメラ - ④	15	0 ~ 30		
録画スケジュール		すべて [T]	[T]連続録画 / [M]動体検知録画 / [-]録画しない)	P.40	
動体検知 設定	断線検知ブザー		オフ	オン / オフ	P.42
	動体検知 設定	検知感度	中	高 / 中 / 低 / オフ	
		録画時間	10 秒	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 45 秒 / 60 秒 / 90 秒 / 120 秒 / 150 秒 / 180 秒	
		動体検知ブザー	オフ	オン / オフ	
		動体検知範囲	—	—	
システム 設定	パスワード設定		000000	任意の数字 6 桁	P.46
	時間設定		※	—	P.49
	録音設定	録音	オン	オン / オフ	P.50
		消音	オフ	オン / オフ	
		音声入力	5	オフ / 1 ~ 10	P.51
		音声出力	5	オフ / 1 ~ 10	
	ファームウェア更新		(製造時に使用する項目です。ユーザー様での設定はありません。)		—
初期設定		—	—	P.52	
ハード ディスク 設定	上書き	はい	はい / いいえ	P.55	
	フォーマット	—	—	P.56	

※使用を開始する際は、必ず [時間設定] を行ってください。

再生する

再生方法は、「日時」を指定して再生する方法と、「リスト」から録画データを選んで再生する方法の2通りがあります。

再生を開始すると、再生を始めた録画データから保存されている最新の録画データまで連続して再生します。

最後まで再生し終わると、一時停止した状態になりますので、**【●停止】**ボタンを押してライブ画面に戻してください。

再生メニュー画面について

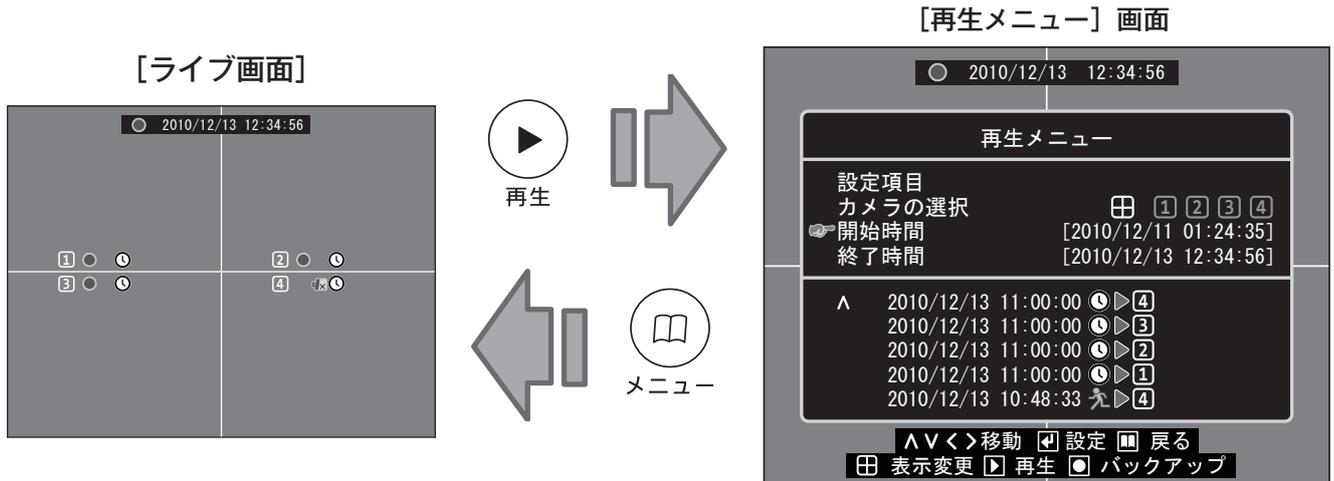
再生メニュー画面の表示方法

ライブ画面で【▶再生】ボタンを押すと、[再生メニュー]画面が表示されます。

[再生メニュー]画面の時に【☰メニュー】ボタンを押すと、ライブ画面に戻ります。

また、再生中の画面の時に【☰メニュー】ボタンを押すと、[再生メニュー]画面に戻ります。

※[再生メニュー]画面は、前回最終操作時の画面から始まります。リスト表示のみの[再生メニュー]画面で操作を終了した場合は、リスト表示のみの画面から始まります。➡「再生メニュー画面の切り替えについて」P.27をご確認ください。



再生メニュー画面上のマーク表示について

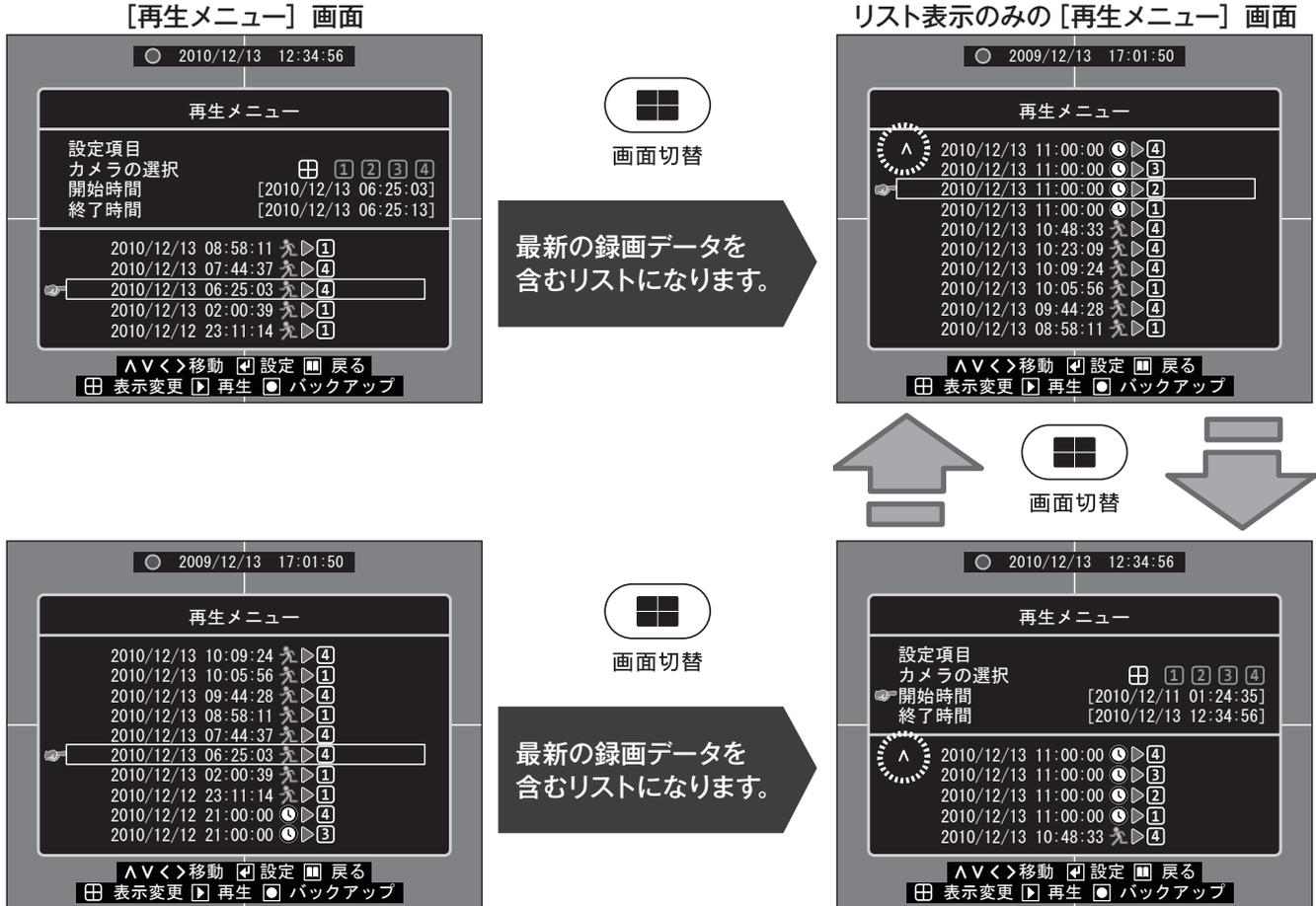
	マーク	表示名	表示の意味	
上 段	田	カメラの選択 (4台選択)	4台すべてのリスト表示です。 ➡下段に、すべてのリストが表示されます。	
	1 2 3 4	カメラの選択 (各カメラ選択)	カメラごとのリスト表示です。 ➡下段に選択したカメラのリストが表示されます。	
	(年/月/日/時間)	開始時間	「日時指定再生」で再生を開始する時間です。	リスト内の録画データ 選択時は、その開始時 間と終了時間の表示に なります。
	(年/月/日/時間)	終了時間	録画データの終わりの時間です。 ※録画中の場合は、現在時刻です。	
下 段	🔌	電源停止	録画中の電源オフによって停止した記録のある録画データです。	
	(年/月/日/時間)	録画開始日時	録画データリストの録画を開始した日時です。	
	🕒	連続録画	録画スケジュール [連続録画] 設定で録画された録画データです。	
	🚶	動体検知録画	録画スケジュール [動体検知] 設定で録画された録画データです。	
	1 2 3 4	カメラ番号	録画データのカメラです。	
	^	最新の録画データ	リスト内の最新の録画データを意味する表示です。	
	v	最古の録画データ	リスト内の最古の録画データを意味する表示です。	

再生メニュー画面の切り替えについて

[再生メニュー] 画面は、通常の画面とリスト表示のみの [再生メニュー] 画面を切り替えることができます。

また、[再生メニュー] 画面を切り替えると、最新の録画データを含むリストを表示します。

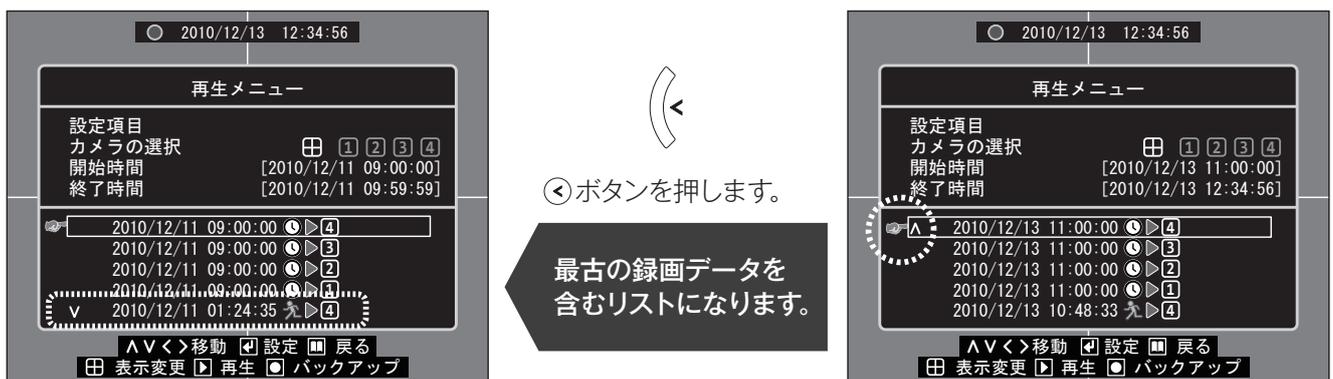
※操作終了後、次に [再生メニュー] を表示させた時は、前回に開かれていた方の画面を最初に表示します。



◆ 最古の録画データの開始時間*を知りたい場合➡

[V] マークが最古の録画データの表示です。上記参照のうえ、右からの操作でリストの表示を切り替えてください。

※詳しくは、「リスト内の移動について」P.29 をご覧ください。



* [上書き] 設定中で、上書き録画を行っている場合は、録画開始時間も変わっていきます。

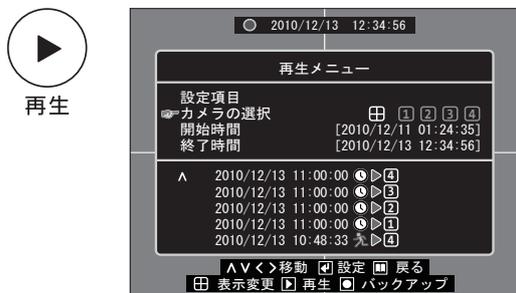
上書き中の録画データを再生する場合、リストに表示されていても上書きされた時間帯の再生はできません。

※ハードディスク設定でも確認することができます。〔確認方法➡ [ハードディスク情報の確認] P.54〕

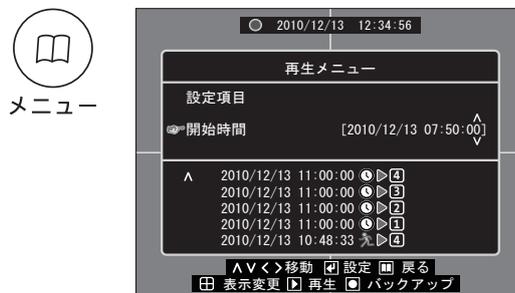
日時指定再生する

3 再生する 日時指定再生する

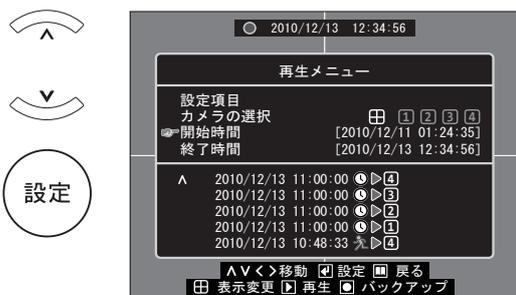
1 ライブ画面で【▶再生】ボタンを押し、[再生メニュー]画面を表示します。



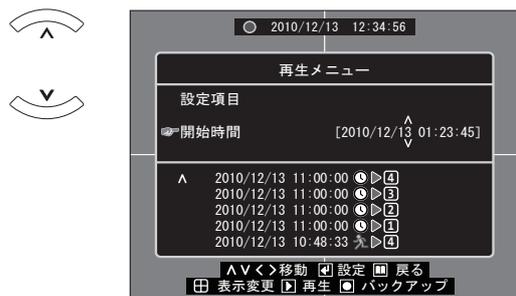
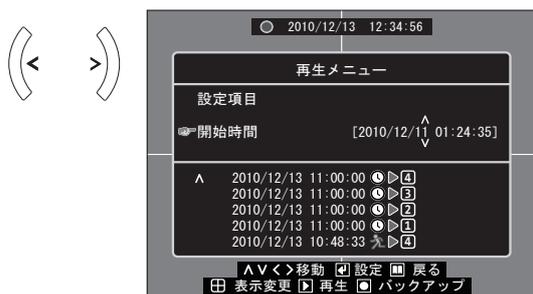
4 [開始時間]を合わせ終わったら、【Ⓜメニュー】ボタンを押します。



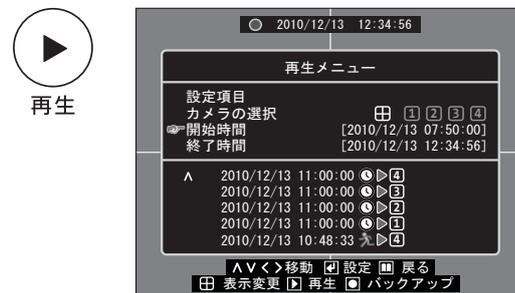
2 ▲▼ボタンで[開始時間]を選択し、【Ⓜ設定】ボタンを押します。



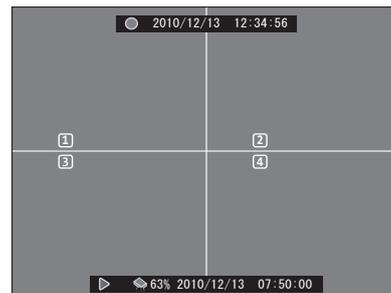
3 画面が[開始時間]設定状態の表示になります。◀▶ボタンで再生を開始したい日時の数値に◇マークを合わせて、▲▼ボタンで数字を切り替えていきます。



5 [再生メニュー]画面に[開始時間]が指定されます。【▶再生】ボタンを押します。



6 再生を開始します。再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。「再生中のボタン操作について」は、P.30をご覧ください。

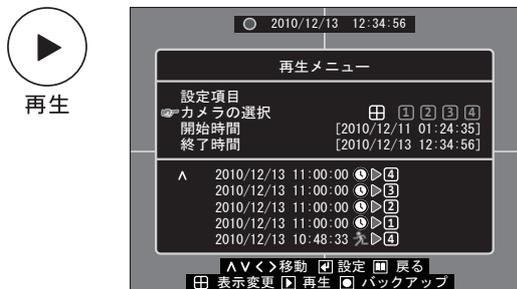


《注意》
[開始時間]には、前回、日時指定再生を行った時の時間が表示されます。

《注意》
指定した時間に録画データがない場合は、指定した時間以降の一番近い録画データを再生します。

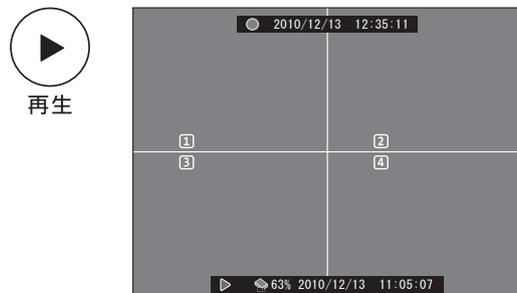
リスト再生する

1 ライブ画面で【▶再生】ボタンを押し、[再生メニュー]画面を表示します。

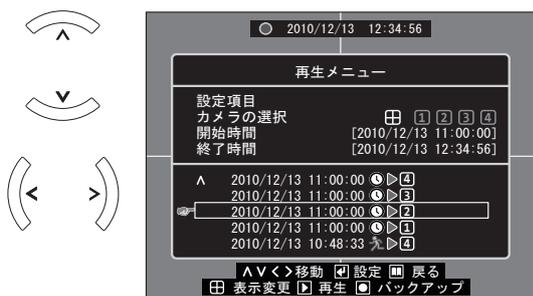


《リストに表示するカメラの切替方法》
リストに表示するカメラは選択できます。
[カメラの選択]のマークが緑色のカメラがリスト内に表示されます。(白色：選択解除)
▲▼▲▼ボタンで[カメラの選択]の「4台選択」とそれぞれの「カメラ選択」上で【⊕設定】ボタンを押し、緑色と白色を切り替えます。

3 【▶再生】ボタンを押し、再生を開始します。再生している録画データ上の日時は、画面の下に表示されています。「再生中のボタン操作について」は、P.30をご覧ください。



2 ▲▼ボタンでリスト内から再生したい録画データを選択します。
※◀▶ボタンで、リストのページ移動ができます。
※録画データを選択すると、上段の[開始時間][録画時間]には録画データの録画開始時間と、終了時間が表示されます。



◆ リスト内の移動について 選択が下段リスト内に入った場合は、移動の操作が下記ようになります。

録画データの選択状態	本体ボタン	リモコンボタン	操作の主な効果
▲マークの録画データ選択時 (上記以外の録画データ選択時)	▲	▲	リスト外の上段 [カメラの選択] に移動 ※リストのみの [再生メニュー] 画面でない場合 上に移動 (新しい時間のデータに移動)
▼マークの録画データ (上記以外の録画データ選択時)	▼	▼	リスト外の上段 [カメラの選択] に移動 ※リストのみの [再生メニュー] 画面でない場合 下に移動 (古い時間のデータに移動)
最下段の録画データ選択時 ▼マークの録画データ (上記以外の録画データ選択時)	▶	▶	より新しいリストにページ移動 最新の録画データが含まれるリストへ移動 表示している最下段の録画データに移動
最上段の録画データ選択時 ▲マークの録画データ選択時 (上記以外の録画データ選択時)	◀	◀	より古いリストにページ移動 最古の録画データが含まれるリストへ移動 表示している最上段の録画データに移動

再生中のボタン操作について

3

再生する 再生中のボタン操作について

本体ボタン	リモコンボタン	名称	主な操作内容
<p>1 2 3 4</p>		カメラ切替	再生画面を単一画面に切り替えます。 ※再生中に、保存された録画データのないカメラの画面は黒く表示されます。
<p>画面切替</p>		画面切替	再生画面を 4 分割画面に切り替えます。 ※再生中に、保存された録画データのないカメラの画面は黒く表示されます。
<p>停止</p>		停止	再生を停止してライブ画面に戻ります。
<p>一時停止</p>		一時停止	再生を一時停止します。 ※一時停止中は、押すたびにコマ送りします。
<p>再生</p>		再生	再生中→再生を一時停止します。 早再生中 / 戻し再生中→通常の再生にします。
<p>メニュー</p>		メニュー	再生を停止して [再生メニュー] 画面に戻ります。
		早再生	早送りで再生します。(5段階) ※再生できなくなった時点で一時停止します。
		戻り再生	戻りながら再生します。(5段階) ※再生できなくなった時点で一時停止します。

本製品は、映像の再生中や各項目の設定中でも録画をできます。

各項目の設定

4

設定項目		掲載頁	
カメラ設定	カメラ機能	P.32	
	録画		
	ライブ画面を隠す		
	切替時間		
	色調整（明度設定・コントラスト・色合い・彩度設定）		
録画画質		P.36	
録画フレーム設定		P.38	
録画スケジュール		P.40	
動体検知設定	断線検知ブザー	P.42	
	動体検知設定		検知感度
			録画時間
			動体検知ブザー
	動体検知範囲		
システム設定	パスワードの設定	P.46	
	時間設定	P.49	
	録音設定（録音・消音）	P.50	
	録音設定（音声入力・音声出力）	P.51	
	初期設定	P.52	
ハードディスク設定	情報の確認	P.54	
	上書き	P.55	
	フォーマット	P.56	

《設定内容を変更する時の注意》

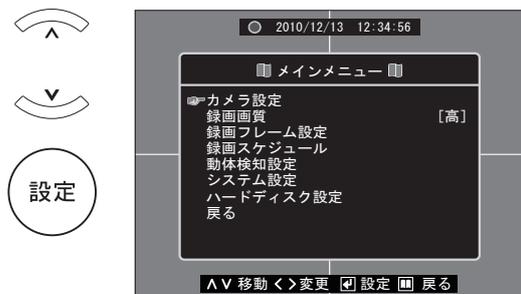
設定の変更をした後、[メインメニュー] 画面から【Ⓜメニュー】ボタンでライブ画面に戻ると、[保存して戻る] を選択した操作と同じになります。

■カメラ設定

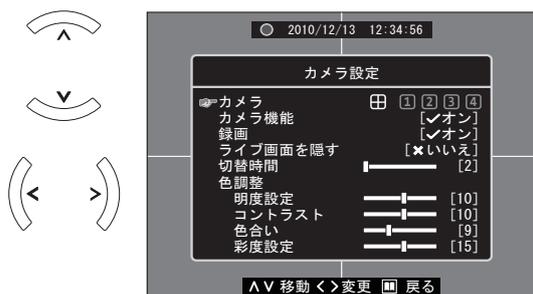
設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明	
カメラ機能	オン	オン/オフ	カメラごとに、すべてのカメラの機能を有効にする(オン) / 停止する(オフ)を設定できます。 ※カメラ機能を[オフ]に設定したカメラのライブ画面は、すべてが非表示になります。	
録画	オン	オン/オフ	カメラごとに録画する(オン) / 録画しない(オフ)を設定できます。	
ライブ画面を隠す	いいえ	はい/いいえ	カメラごとにライブ映像を表示する(はい) / 表示しない(いいえ)を設定できます。	
切替時間	2	2 ~ 30	画面自動切替中のカメラごとのライブ画面を表示する時間の長さ(秒)を設定できます。	
色調整	明度設定	10	1 ~ 20	カメラごとに画面の明るさを調整できます。
	コントラスト	10	1 ~ 20	カメラごとに画面のコントラストを調整できます。
	色合い	9	1 ~ 32	カメラごとに画面の色合いを調整できます。
	彩度設定	15	1 ~ 32	カメラごとに画面の彩度を調整できます。

カメラ設定画面を表示する

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 (A) (V) ボタンで [カメラ設定] を選択し、(D) 設定 ボタンを押します。



- 2** [カメラ設定] 画面が表示されます。
 (A) (V) ボタンで [カメラ] に合わせ、(L) (R) ボタンで設定したいカメラを選択します。



[カメラ] 項目で選択するマークについて

- 田 ⇨ 4 台のカメラ設定を一度に変更する場合
- ① ⇨ [カメラ - ①] の設定を変更する場合
- ② ⇨ [カメラ - ②] の設定を変更する場合
- ③ ⇨ [カメラ - ③] の設定を変更する場合
- ④ ⇨ [カメラ - ④] の設定を変更する場合

[カメラ] の選択を切り替えると、選択されているカメラの設定内容が表示されます。
 また、画面の背景には選択されているカメラの映像が表示されます。

田を選択しているときに [----] と表示されている項目は、4 台のカメラが同じ設定状態でないことを意味します。



[カメラ] 選択後は下記のページを参照し、続けて 3 から操作を行ってください。

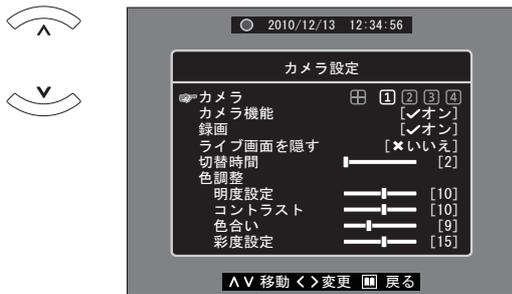
- カメラ機能 P.33
- 録画 P.33
- ライブ画面を隠す P.34
- 切替時間 P.34
- 色調整 P.35

カメラ機能

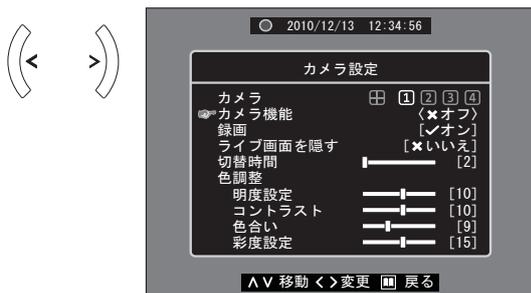
例 [カメラ - ①] のカメラ機能を停止する

P.32のカメラ設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ①] に合わせた後、
 (▲) (▼) ボタンで [カメラ機能] を選択します。



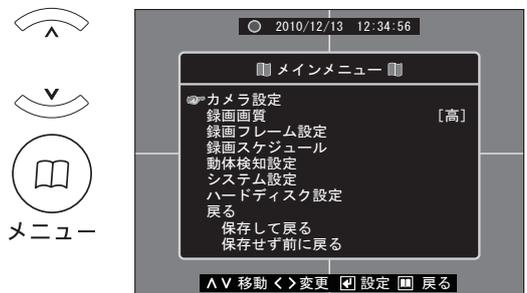
4 次に(◀) (▶) ボタンで [オフ] に切り替えます。
 画面の背景が黒くなります。



5  続けてカメラ設定をする場合は、
 P.32の2から操作を行います。
 メニュー カメラ設定を終了する場合は、
 【(Ⓜ)メニュー】 ボタンを押します。

6 [メインメニュー] 画面に戻ります。
 設定を終了する場合は、(▲) (▼) ボタンで [保存して戻る] を選択して 【(⊕)設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

- ※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して 【(⊕)設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。
- ※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して 【(⊕)設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

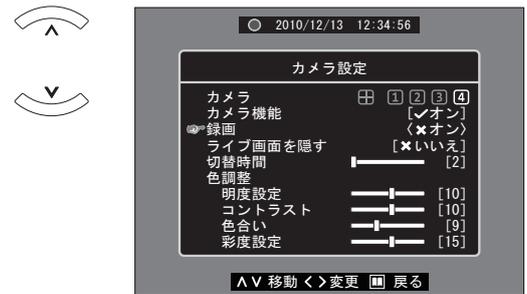


録画

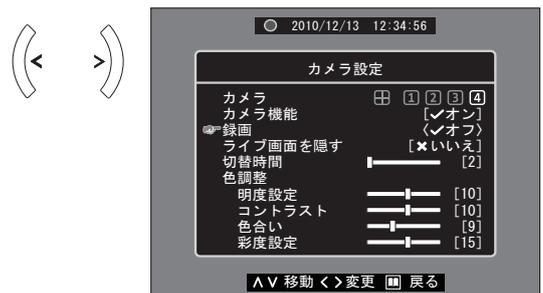
例 [カメラ - ④] の映像を録画しないようにする

P.32のカメラ設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ④] に合わせた後、
 (▲) (▼) ボタンで [録画] を選択します。



4 次に(◀) (▶) ボタンで [オフ] に切り替えます。



5  続けてカメラ設定をする場合は、
 P.32の2から操作を行います。
 メニュー カメラ設定を終了する場合は、
 【(Ⓜ)メニュー】 ボタンを押します。

《注意》

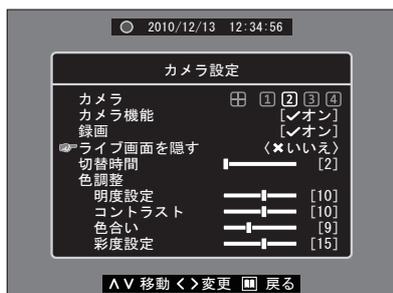
4 台すべての [カメラ機能] または [録画] を [オフ] に設定した場合、録画 (録画待機状態) 自体を停止します。その場合、[カメラ機能] または [録画] を [オン] に設定変更しただけでは、録画 (録画待機状態) を開始しません。「手動で録画待機状態にする (録画する)」 P.23 をご確認のうえ、【(●)録画】 ボタンを押してください。録画 (録画待機状態) を開始します。

ライブ画面を隠す

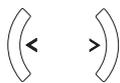
例 [カメラ - ②] の映像をライブ画面に映さないようにする

P.32 のカメラ設定画面を表示する操作 ① ② を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ②] に合わせた後、**▲ ▼** ボタンで [ライブ画面を隠す] を選択します。



4 次に **◀ ▶** ボタンで [はい] に切り替えます。画面の背景が黒くなります。



5 続けてカメラ設定をする場合は、P.32 の ② から操作を行います。カメラ設定を終了する場合は、**☰** [メニュー] ボタンを押します。



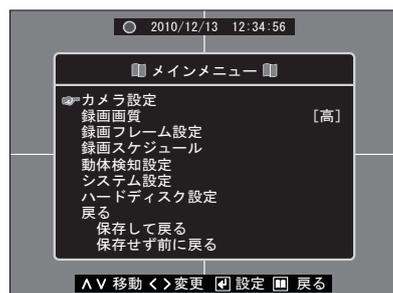
メニュー

6 [メインメニュー] 画面に戻ります。設定を終了する場合は、**▲ ▼** ボタンで [保存して戻る] を選択して **⊕** [設定] ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して **⊕** [設定] ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。
※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して **⊕** [設定] ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー

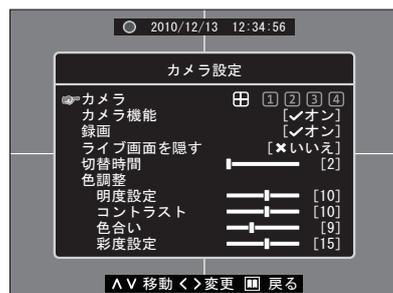


切替時間

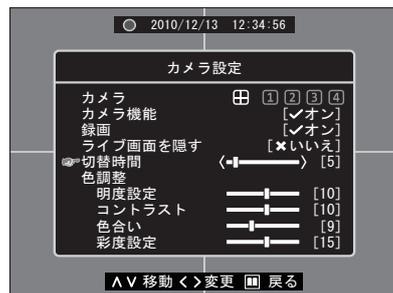
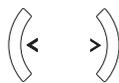
例 カメラを 4 台とも画面自動切替時に 5 秒づつ表示させる

P.32 のカメラ設定画面を表示する操作 ① ② を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、**☰** に合わせた後、**▲ ▼** ボタンで [切替時間] を選択します。



4 次に **◀ ▶** ボタンで [5] に切り替えます。※数字は、おおよその秒数です。



5 続けてカメラ設定をする場合は、P.32 の ② から操作を行います。カメラ設定を終了する場合は、**☰** [メニュー] ボタンを押します。



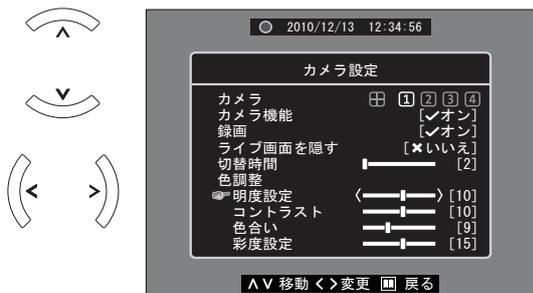
メニュー

色調整

例 [カメラ - ①] の画面の色を調整する

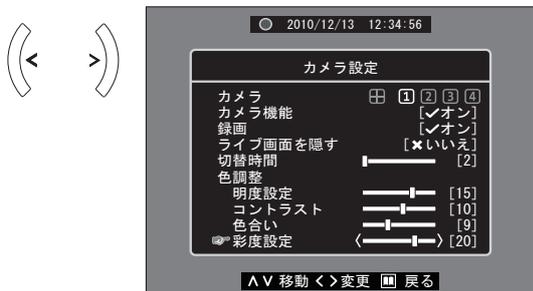
P.32のカメラ設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ①] に合わせた後、**▲ ▼** ボタンで [色調整] 内の調整したい項目を選択します。



※この画面は明度設定を調整中
の場合です。

4 ◀ ▶ ボタンで色調整項目の数値を切り替えます。調整は、画面背景の映像を見ながら行います。



※この画面は明度設定を調整中
の場合です。

5 続けてカメラ設定をする場合は、P.32の 2 から操作を行います。カメラ設定を終了する場合は、**☰** [メニュー] ボタンを押します。



メニュー

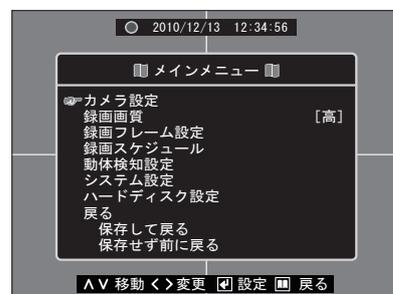
6 [メインメニュー] 画面に戻ります。設定を終了する場合は、**▲ ▼** ボタンで [保存して戻る] を選択して **⊕** [設定] ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前
に戻る] を選択して **⊕** [設定] ボタンを押し、
ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内
には [保存して戻る / 保存せず前に戻る]
は表示されません。[戻る] を選択して **⊕**
[設定] ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー

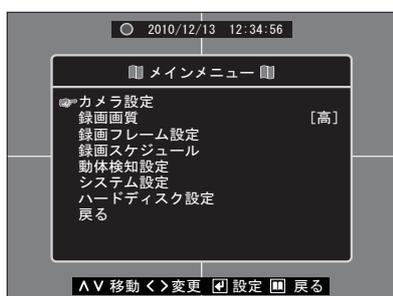


録画画質

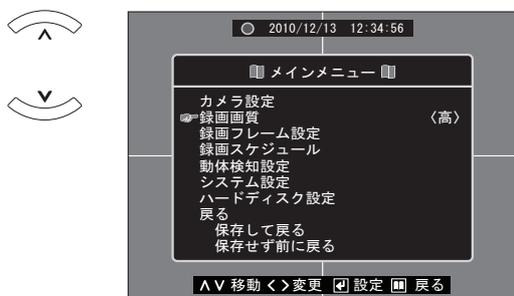
設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明
録画画質	高	高 / 中 / 低	録画時の画質を設定できます。 ※画質は高いほど鮮明な映像で記録されますが、画質が低いときよりも全体の録画時間は短くなります。

例 [録画画質] を [中] に変更する

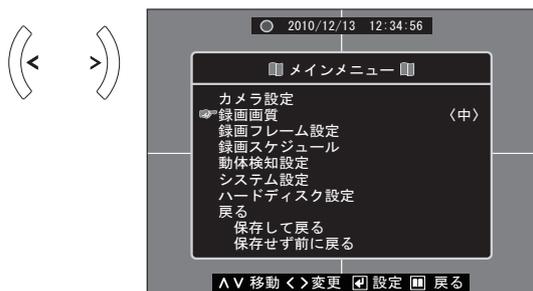
1 [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.17



2 ▲▼ボタンで [録画画質] を選択します。



3 この場合、表示が [中] になるまで繰り返し ◀▶ボタンを押して切り替えます。
※録画画質の設定は、4台のカメラすべてに反映されます。カメラごとに設定することはできません。



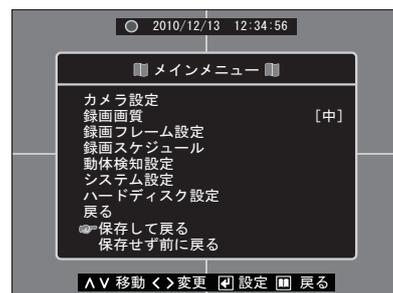
4 設定を終了する場合は、▲▼ボタンで [保存して戻る] を選択して【⊙設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【⊙設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して【⊙設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー

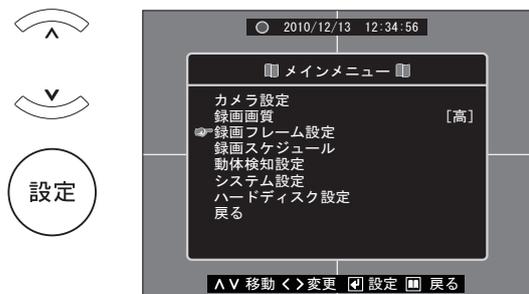


録画フレーム設定

設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明
録画 フレーム数	カメラ - ①	15	録画フレーム数が多いほど、よりスムーズな動きで録画します。 ※録画フレーム数が多いほど、全体の録画時間は短くなります。
	カメラ - ②	15	
	カメラ - ③	15	
	カメラ - ④	15	
		0 ~ 30 ※録画フレーム総数が 60フレームまで	

例 [カメラ - ①・②] を 30 フレームに変更する。

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 Ⓐ Ⓧ ボタンで [録画フレーム設定] を選択し、
 [Ⓧ 設定] ボタンを押します。



- 2** [録画フレーム設定] 画面が表示されます。
 この場合は、Ⓐ Ⓧ ボタンで [カメラ - ③] を
 選択し、Ⓜ ボタンを数値が [0] になるまで
 繰り返し押します。



※ Ⓜ ボタンを押すたびに、他のカメラの設定可能なフレーム数の範囲が [] で表示されます。また、設定可能な録画フレーム総数 [60] に対して、使用されている録画フレーム総数が表示されます。

※ Ⓜ Ⓨ ボタンで変更できる場合は、[] の左に数値を下げられる場合は [<]、数値を上げることのできる場合は [>] のマークが表示されます。

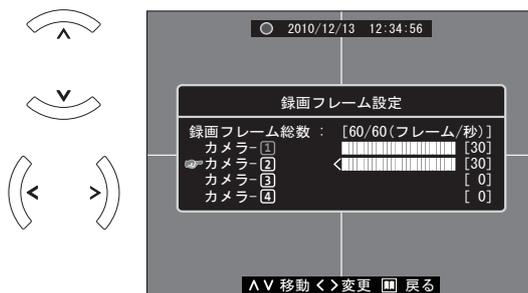
《注意》

使用されている録画フレーム総数が [60] で、設定変更を行う場合は、必要としないカメラの録画フレーム数を下げることが必要となります。

- 3** 同様に Ⓐ Ⓧ ボタンで [カメラ - ④] を選択し、
 Ⓜ ボタンを数値が [0] になるまで繰り返し押
 します。



- 4** 次に Ⓐ Ⓧ ボタンで [カメラ - ①] を選択し、
 Ⓨ ボタンを [30] になるまで繰り返し押します。
 同様に Ⓐ Ⓧ ボタンで [カメラ - ②] を選択し、
 Ⓨ ボタンを [30] になるまで繰り返し押します。



- 5** 録画フレーム設定が終了したら、【メニュー】ボタンを押します。
[メインメニュー] 画面に戻ります。



メニュー

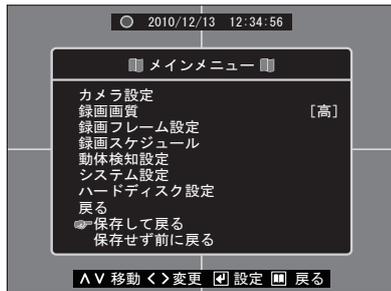
- 6** 設定を終了する場合は、  ボタンで [保存して戻る] を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー



《注意》

映像入力がないカメラがある場合は、ライブ画面に断線検知マークが表示されます。

断線検知マークの表示を消したい場合は、[カメラ機能] を [オフ] にしてください。

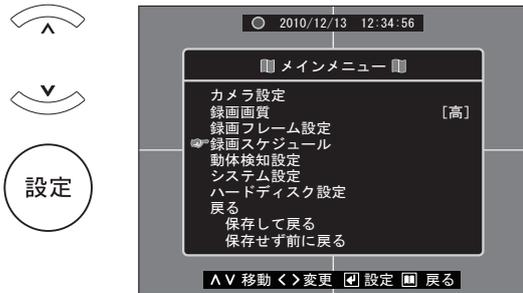
【設定方法→ P.32】

録画スケジュール

設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明
録画スケジュール	すべて [T]	T / M / -	カメラごとに曜日別・1時間単位での[連続録画]・[動体検知録画]・[録画しない]の設定ができます。 [T] 連続録画：常に録画します。 [M] 動体検知録画：動体を検知した時に録画します。 [-] 録画をしません。

例 [カメラ - ①] を常に動体検知録画するように設定する。

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.17
⊙ ⊙ ボタンで [録画スケジュール] を選択し、
【⊕設定】 ボタンを押します。



- 2** [録画スケジュール] 画面が表示されます。
この場合は、⊙ ⊙ ボタンで [カメラ] に合わせ、
⊙ ⊙ ボタンで①を選択します。



- 3** ⊙ ⊙ ボタンで [■ (全選択部分)] に合わせた後、
【⊕設定】 ボタンを繰り返し押しして [T] / [M] / [-] を切り替えます。



《その他の設定方法》

曜日・時間で様々な設定ができます。詳しくは「録画スケジュール設定時のいろいろな選択方法」P.41 をご確認ください。

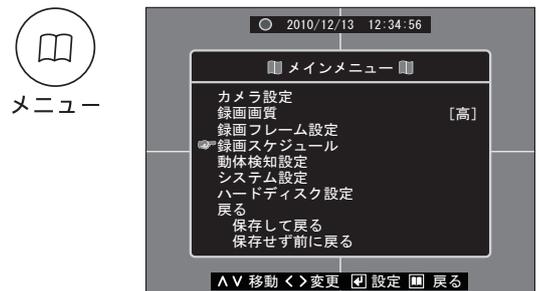
- 4** この場合は、表示をすべて [M] に切り替えて
【⊕メニュー】 ボタンを押します。



- 5** [メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、⊙ ⊙ ボタンで [保存して戻る] を選択して【⊕設定】 ボタン
を押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の
設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【⊕設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

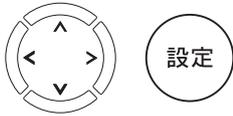
※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して【⊕設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



録画スケジュール設定時のいろいろな選択方法

例 すべてのカメラを常に [動体検知録画] するように設定する。

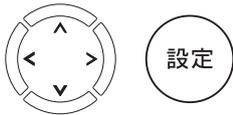
⬆️ ⬇️ ⬅️ ➡️ ボタンで [■] に合わせ、【⊕設定】ボタンで [M] に切り替えます。



カメラ	曜日\時間	0	3	6	9	12	15	18	21	24
1	日	M	M	M	M	M	M	M	M	M
2	月	M	M	M	M	M	M	M	M	M
3	火	M	M	M	M	M	M	M	M	M
4	水	M	M	M	M	M	M	M	M	M
5	木	M	M	M	M	M	M	M	M	M
6	金	M	M	M	M	M	M	M	M	M
7	土	M	M	M	M	M	M	M	M	M

例 [カメラ - 1] で午前 9 時～10 時 (10 時は含まず) までを [動体検知録画] するように設定する。

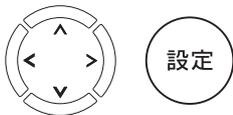
⬆️ ⬇️ ⬅️ ➡️ ボタンで [v (時間選択部分)] に合わせ、【⊕設定】ボタンで [M] に切り替えます。



カメラ	曜日\時間	0	3	6	9	12	15	18	21	24
1	日	T	T	T	v	T	T	T	T	T
2	月	T	T	T	v	T	T	T	T	T
3	火	T	T	T	v	T	T	T	T	T
4	水	T	T	T	v	T	T	T	T	T
5	木	T	T	T	v	T	T	T	T	T
6	金	T	T	T	v	T	T	T	T	T
7	土	T	T	T	v	T	T	T	T	T

例 すべてのカメラで水曜日を終日 [録画しない] に設定する。

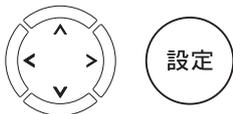
⬆️ ⬇️ ⬅️ ➡️ ボタンで [> (曜日選択部分)] に合わせ、【⊕設定】ボタンで [-] に切り替えます。



カメラ	曜日\時間	0	3	6	9	12	15	18	21	24
1	日	T	T	T	T	T	T	T	T	T
2	月	T	T	T	T	T	T	T	T	T
3	火	T	T	T	T	T	T	T	T	T
4	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	木	T	T	T	T	T	T	T	T	T
6	金	T	T	T	T	T	T	T	T	T
7	土	T	T	T	T	T	T	T	T	T

例 [カメラ - 4] で日曜日の午前 6 時～10 時 (10 時は含まず) までを [録画しない] に設定する。

⬆️ ⬇️ ⬅️ ➡️ ボタンで [■ (曜日・時間選択部分)] に合わせ、【⊕設定】ボタンで [-] に切り替えます。



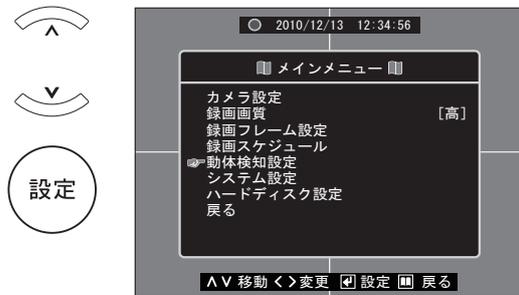
カメラ	曜日\時間	0	3	6	9	12	15	18	21	24
1	日	T	T	T	T	T	T	T	T	T
2	月	T	T	T	T	T	T	T	T	T
3	火	T	T	T	T	T	T	T	T	T
4	水	T	T	T	T	T	T	T	T	T
5	木	T	T	T	T	T	T	T	T	T
6	金	T	T	T	T	T	T	T	T	T
7	土	T	T	T	T	T	T	T	T	T

■ 動体検知設定

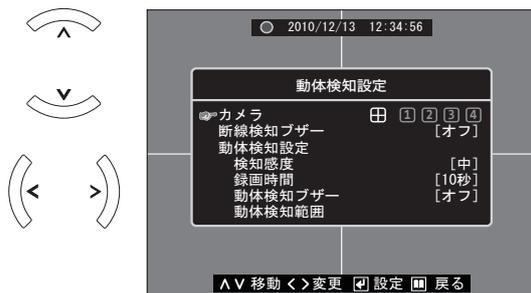
設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明
断線検知ブザー	オフ	オン/オフ	カメラごとに接続されているケーブルからの映像信号を受信しない場合に、ブザーを鳴らす(オン) / 鳴らさない(オフ)を設定できます。
動体検知設定	検知感度	中	カメラごとに動体検知させる感度を設定できます。
	録画時間	10秒	カメラごとに動体検知したときに録画を行うおおよその時間(秒)を設定できます。 ※録画は、動体検知すると設定された時間の長さで録画を行い、動体検知が続くと録画し続けます。
	動体検知ブザー	オフ	カメラごとに動体検知したときに、ブザーを鳴らす(オン) / 鳴らさない(オフ)を設定できます。 ※ブザーは、動体検知すると約10秒鳴り、動体検知が続くと鳴り続けます。
	動体検知範囲	—	カメラごとに映像の範囲内で、動体検知する範囲を設定できます。

動体検知設定画面を表示する

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 ▲ ▼ ボタンで [動体検知設定] を選択し、
 [設定] ボタンを押します。



- 2** [動体検知設定] 画面が表示されます。
 ▲ ▼ ボタンで [カメラ] に合わせ、◀ ▶ ボタンで設定したいカメラを選択します。



[カメラ] 項目で選択するマークについて

- 田 ⇨ 4台のカメラ設定を一度に変更する場合
- ① ⇨ [カメラ-①] の設定を変更する場合
- ② ⇨ [カメラ-②] の設定を変更する場合
- ③ ⇨ [カメラ-③] の設定を変更する場合
- ④ ⇨ [カメラ-④] の設定を変更する場合

[カメラ] の選択を切り替えると、選択されているカメラの設定内容が表示されます。
 また、画面の背景には選択されているカメラの映像が表示されます。

田を選択しているときに [----] と表示されている項目は、4台のカメラが同じ設定状態でないことを意味します。



[カメラ] 選択後は下記のページを参照し、続けて 3 から操作を行ってください。

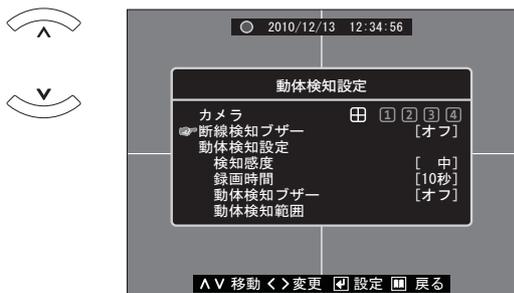
- 断線検知ブザー…………… P.43
- 検知感度…………… P.43
- 録画時間…………… P.44
- 動体検知ブザー…………… P.44
- 動体検知範囲…………… P.45

断線検知ブザー

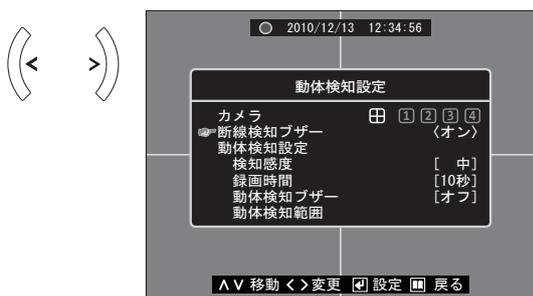
例 断線時に 4 台すべてのカメラの断線検知ブザーを鳴らす。

P.42 の動体検知設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[田] に合わせた後、(▲) (▼) ボタンで [断線検知ブザー] を選択します。



4 次に(◀) (▶) ボタンで [オン] に切り替えます。



5 続けて動体検知設定をする場合は、P.42 の 2 から操作を行います。
メニュー 動体検知設定を終了する場合は、【田メニュー】 ボタンを押します。

《断線検知ブザーの止め方について》

- ①ブザーの鳴っているカメラの映像入力信号を復帰させる。
- ②[動体検知設定⇒断線検知ブザー] の設定を [オフ] に切り替える。

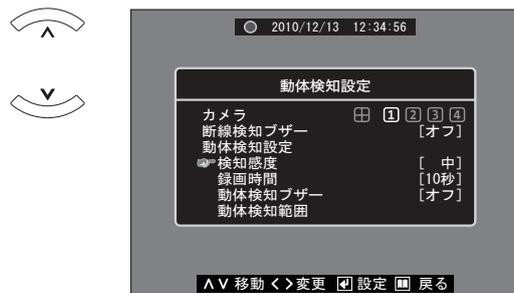
6 [メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、(▲) (▼) ボタンで [保存して戻る] を選択して【田設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。
※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【田設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。
※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して【田設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

検知感度

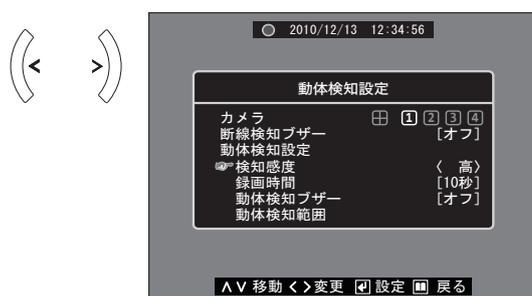
例 [カメラ - 1] の検知感度を [高] に変更する。

P.42 の動体検知設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

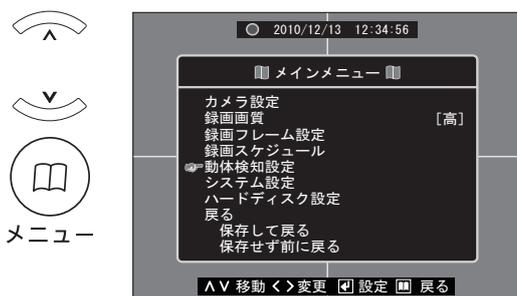
3 この場合は、[カメラ - 1] に合わせた後、(▲) (▼) ボタンで [検知感度] を選択します。



4 次に(◀) (▶) ボタンで [高] に切り替えます。



5 続けて動体検知設定をする場合は、P.42 の 2 から操作を行います。
動体検知設定を終了する場合は、【田メニュー】 ボタンを押します。

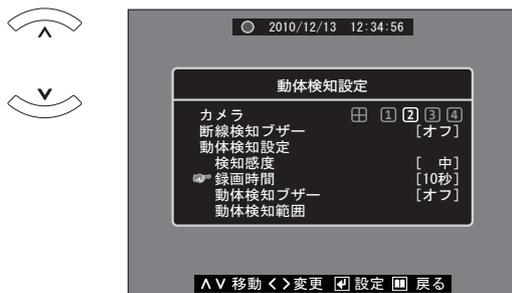


録画時間

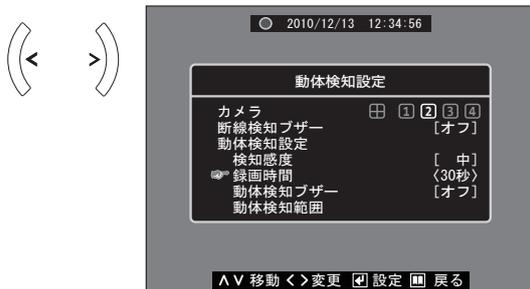
例 [カメラ - ②] の動体検知時の録画時間を約 [30 秒] に変更する。

P.42 の動体検知設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ②] に合わせた後、**▲ ▼** ボタンで [録画時間] を選択します。

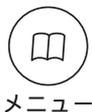


4 次に **◀ ▶** ボタンで [30 秒] に切り替えます。
※録画は、動体を検知すると設定された時間の長さで録画を行い、動体検知が続くと録画し続けます。



5 続けて動体検知設定をする場合は、P.42 の 2 から操作を行います。

動体検知設定を終了する場合は、**☰** メニュー ボタンを押します。



6 [メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、**▲ ▼** ボタンで [保存して戻る] を選択して **⊕** 設定 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して **⊕** 設定 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

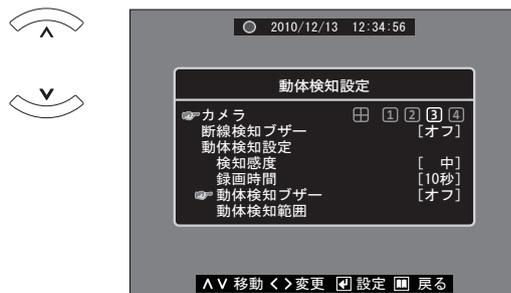
※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して **⊕** 設定 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

動体検知ブザー

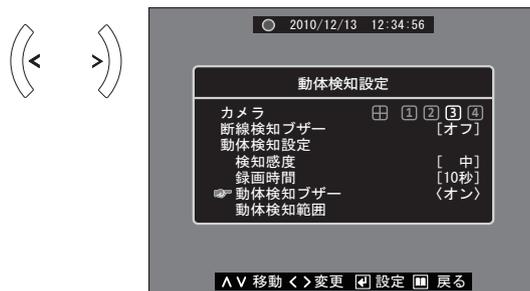
例 [カメラ - ③] の動体検知時にブザーを鳴らす。

P.42 の動体検知設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - ③] に合わせた後、**▲ ▼** ボタンで [動体検知ブザー] を選択します。

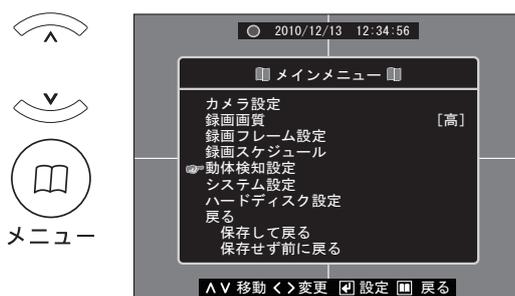


4 次に **◀ ▶** ボタンで [オン] に切り替えます。
※ブザーは、動体を検知すると約 10 秒鳴り、動体の検知が続くと鳴り続けます。



5 続けて動体検知設定をする場合は、P.42 の 2 から操作を行います。

動体検知設定を終了する場合は、**☰** メニュー ボタンを押します。

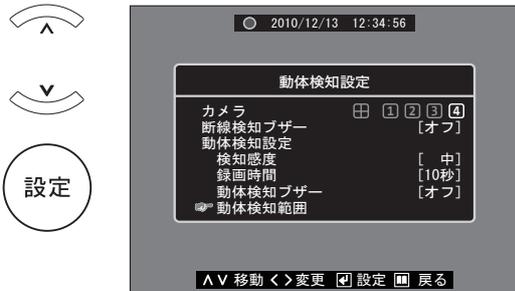


動体検知範囲

例 [カメラ - 4] の動体検知範囲を変更する。

P.42の動体検知設定画面を表示する操作 1 2 を行った後の操作手順の説明になります。

3 この場合は、[カメラ - 4] に合わせた後、
▲ ▼ ボタンで [動体検知範囲] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。



4 [動体検知範囲] 設定画面が表示されます。
青色部分が設定されている動体検知範囲です。
また、左上にある設定するカメラの表示を確認してください。この場合は、[カメラ - 4]
が表示されます。

※4台同時 (田表示) に設定を行う場合、画面には、カメラ- [1] の映像が表示されます。



5 ライブ画面を見ながら、設定したい動体検知範囲の角にあたる部分に ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで
[+] マークを移動させます。【設定】 ボタンを押して、動体検知範囲の選択を開始します。
※範囲選択を開始した時点で前の設定範囲は画面上から消えます。



《注意》

あらたに範囲の選択を開始すると、前に設定されていた選択範囲に戻すことはできません。

6 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで [+] マークを移動させながら、青色部分で四角形を作るようにして範囲を選択していきます。
動体検知させたい範囲が選択し終わったら、
【設定】 ボタンを押し、範囲を確定させます。

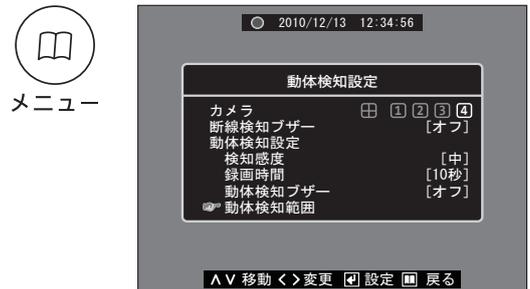


《注意》

操作 5 6 は繰り返し行うことができますが、選べる範囲は四角形で1ヶ所です。

7 選択した動体検知範囲を確認し、【メニュー】 ボタンを押して、[動体検知設定] 画面に戻ります。

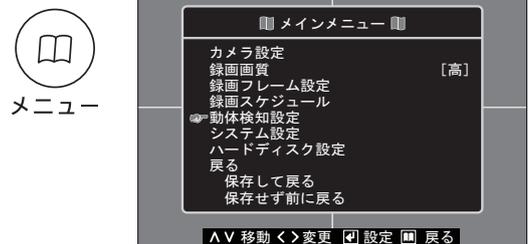
続けて動体検知設定をする場合は、P.42の 2 から操作を行います。動体検知設定を終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



8 [メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、▲ ▼ ボタンで [保存して戻る] を選択して 【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して 【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。
[戻る] を選択して 【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



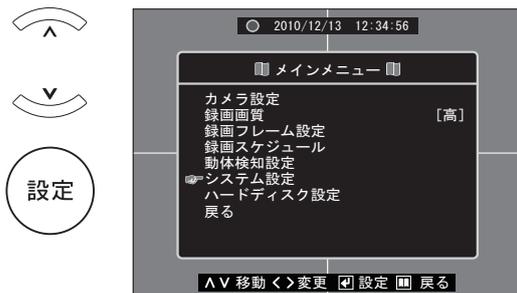
■システム設定

設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明	
パスワードの設定	000000	—	任意の数字 6 桁でパスワードを変更できます。	
時間設定	(現在時刻)	—	時間の設定ができます。 使用を開始する際は、必ず時間設定を行ってください。	
録音設定	録音	オン	オン/オフ	音声を記録する(オン) / 記録しない(オフ) を設定できます。 (音声入力端子からの音声は、すべてカメラに記録されます。)
	消音	オフ	オン/オフ	音声出力端子へ音声を出力する(オフ) / しない(オン) を設定できます。
	音声入力	5	オフ/1 ~ 10	音声入力端子からの音量レベルを調整できます。
	音声出力	5	オフ/1 ~ 10	音声出力端子への音量レベルを調整できます。
ファームウェア更新	(製造時に使用する項目です。ユーザー様での設定はありません。)			
初期設定	—	—	すべての設定内容を工場出荷値に戻すことができます。 ※時間設定、ハードディスクは初期化されません。	

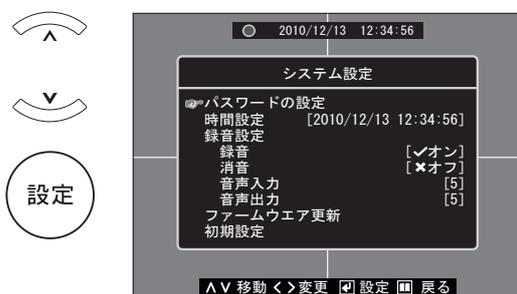
パスワードの設定 【注意】変更したパスワードは、忘れないように管理してください。

例 パスワードを「123456」に変更する

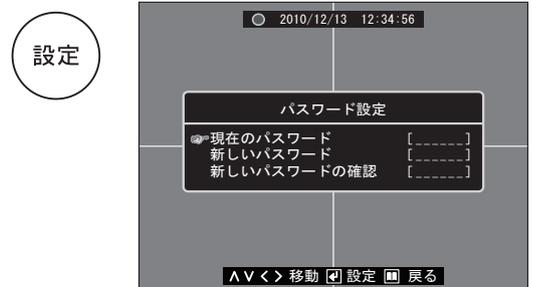
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 ▲ ▼ ボタンで [システム設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。



- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
 ▲ ▼ ボタンで [パスワードの設定] を選択し、
 【設定】 ボタンを押します。

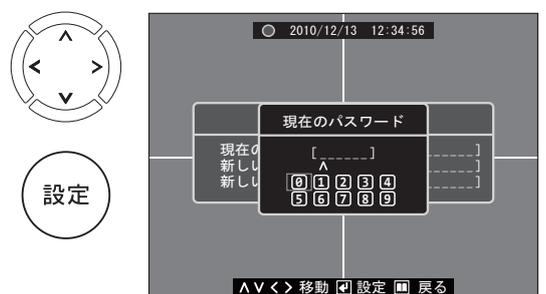


- 3** [パスワードの設定] 画面が表示されます。
 [現在のパスワード] が選択されていますので、
 【設定】 ボタンを押します。



- 4** [現在のパスワード] 入力画面が表示されます。
 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで [] を移動して数字を選択し、
 【設定】 ボタンでパスワードを入力していきます。

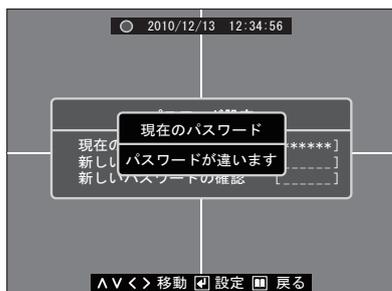
※入力し直す場合は、【メニュー】 ボタンを押して [システム設定] 画面に戻り、操作 3 からやり直してください。



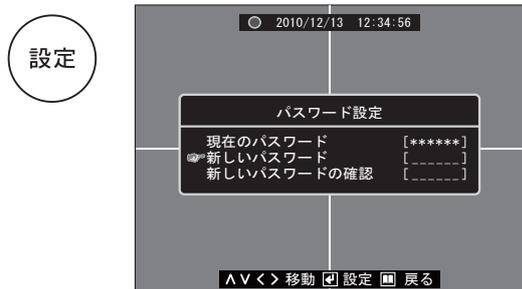
《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います] と表示されます。少しすると自動的に [パスワードの設定] 画面に戻ります。操作 ⑥ からやり直し、正しいパスワードの入力を行ってください。

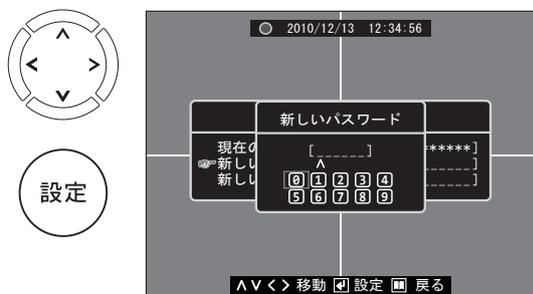
※表示中に【Ⓜメニュー】ボタンを押しても、[パスワードの設定] 画面に戻ります。



5 [現在のパスワード] を入力すると、再び [パスワードの設定] 画面が表示されます。[新しいパスワード] が選択されていますので、【⊕設定】ボタンを押します。

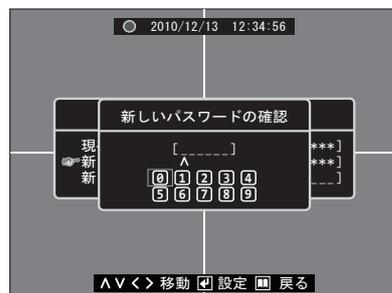
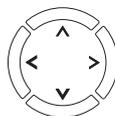


6 [新しいパスワード] 入力画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンで数字を選択し、【⊕設定】ボタンでパスワードを入力していきます。

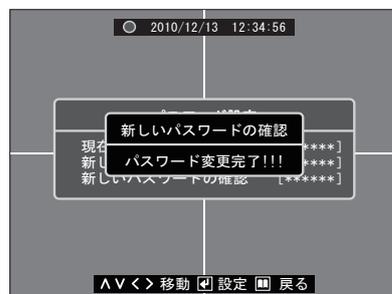


この場合、▲▼◀▶ボタンで1を選択して【⊕設定】ボタンを押します。同様に 2 3 4 5 6 を選択して、【⊕設定】ボタンを押して入力します。

7 [新しいパスワード] を入力すると、[新しいパスワードの確認] 入力画面が表示されます。操作 ⑥ と同様にパスワードを入力します。



8 [新しいパスワードの確認] を入力すると、[パスワード変更完了!!!] 画面が表示され、[システム設定] 画面に戻ります。



《パスワード設定に失敗した場合》

[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] で入力が違う等でパスワードの設定に失敗した場合は、[パスワード失敗] 画面の後、操作 ⑥ の画面に戻ります。再度、入力を直してください。

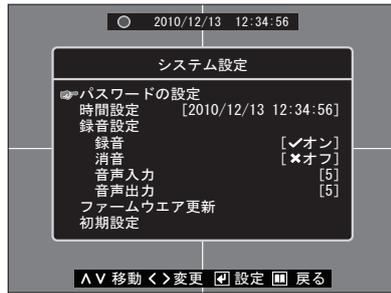
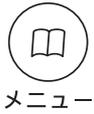
※表示中に【Ⓜメニュー】ボタンを押しても、操作 ⑥ の画面に戻ります。



※操作説明は、次ページに続きます。

9

続けてシステム設定をすることも可能です。
システム設定を終了する場合は、【メニュー】
ボタンを押します。



《注意》

この時点では、新しいパスワードはシステム上に
反映されていません。
続けて[初期設定]と[ハードディスクフォーマット]
の設定を行う場合、元のパスワードでの入力
が必要になります。

《注意》

[(メニュー) メインメニュー]、[初期設定]、
[フォーマット]、[録画停止] で使用する
パスワードは、すべて共通です。

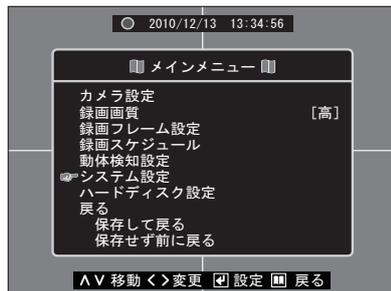
4

10

[メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、  ボタンで [保
存して戻る] を選択して 【設定】 ボタン
を押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の
設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前
に戻る] を選択して【設定】 ボタンを押し、
ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内
には [保存して戻る / 保存せず前に戻る]
は表示されません。[戻る] を選択して 【設定】
ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

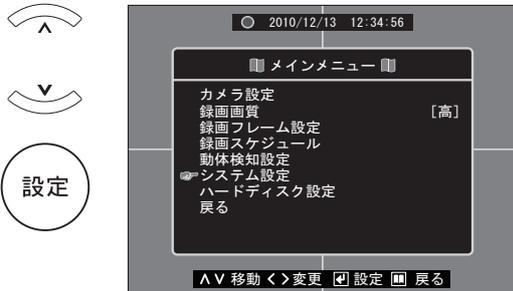


《注意》

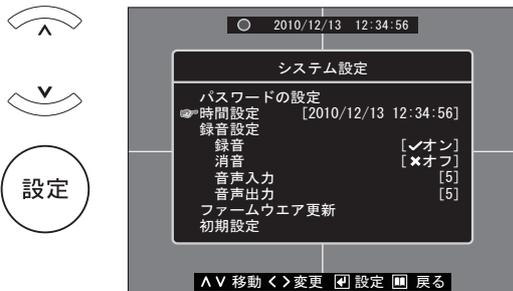
新しいパスワードは、[保存して戻る] を選択して
ライブ画面に戻った時点でシステム上に反映され
ます。

時間設定 正確な記録を残すために、定期的(1ヶ月に1回程度)な現在時刻の確認・設定をおすすめします。

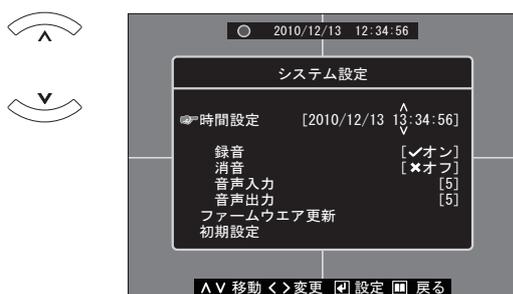
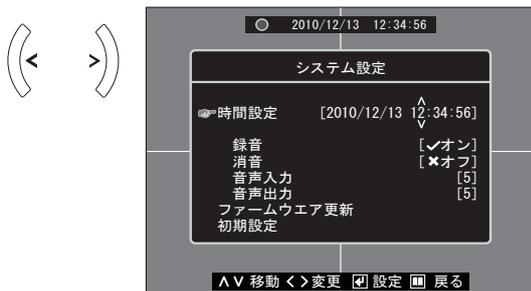
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 (▲) (▼) ボタンで [システム設定] を選択し、
 【(⊕)設定】 ボタンを押します。



- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
 (▲) (▼) ボタンで [時間設定] を選択し、【(⊕)設定】
 ボタンを押します。



- 3** 画面が [時間設定] 状態の表示になります。
 (◀) (▶) ボタンで変更したい現在時刻の数値に
 ◇マークを合わせて、(▲) (▼) ボタンで数字を
 切り替えていきます。



- 4** 現在時刻が合うように操作 (3) を繰り返し行
 い、終了したら【(Ⓜ)メニュー】 ボタンを押し
 ます。

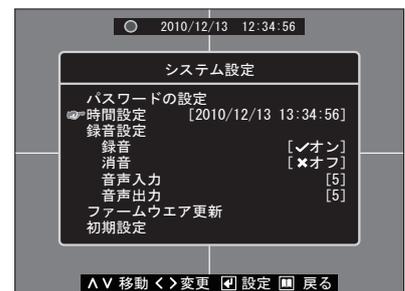


メニュー

- 5** 通常の [システム設定] 画面に戻ります。
 続けてシステム設定をすることも可能です。
 システム設定を終了する場合は、【(Ⓜ)メニュー】
 ボタンを押します。



メニュー



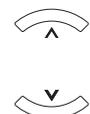
《注意》

この時点で、現在時刻の表示は [時間設定] を行っ
 た時間で進んでいますが、システム上で現在時刻は
 確定されていません。操作 (6) で設定を保存した
 時点でシステムに反映されます。

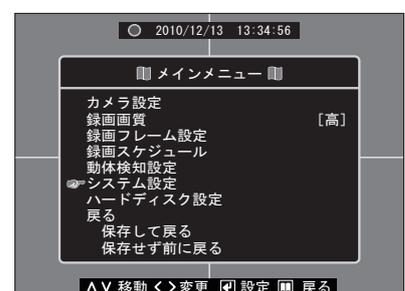
- 6** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 設定を終了する場合は、(▲) (▼) ボタンで [保
 存して戻る] を選択して【(⊕)設定】 ボタン
 を押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の
 設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前
 に戻る] を選択して【(⊕)設定】 ボタンを押し、
 ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内
 には [保存して戻る / 保存せず前に戻る]
 は表示されません。[戻る] を選択して【(⊕)
 設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

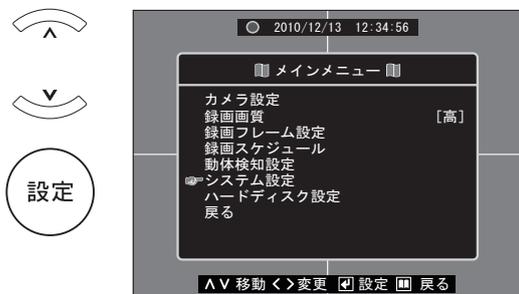


メニュー

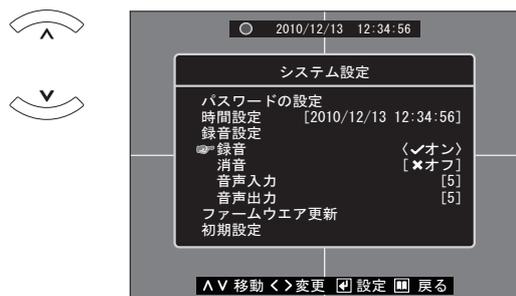


録音設定（録音・消音）

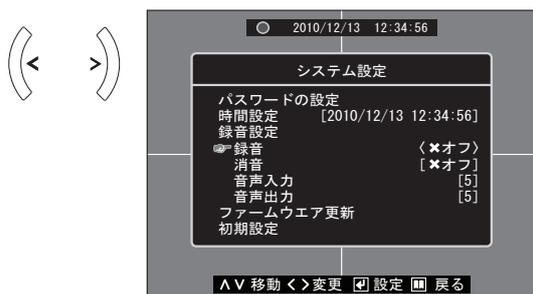
- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.17
▲▼ボタンで[システム設定]を選択し、
【設定】ボタンを押します。



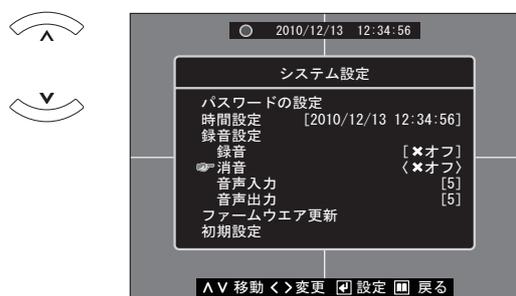
- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
▲▼ボタンで[録音]を選択します。



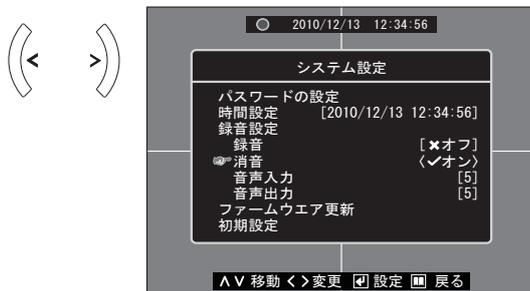
- 3** 次に◀▶ボタンで[オン] / [オフ] を切り替えます。



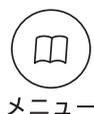
- 4** [消音] の場合も同様に▲▼ボタンで[消音]を選択します。



- 5** 次に◀▶ボタンで[オン] / [オフ] を切り替えます。



- 6** 続けてシステム設定をすることも可能です。
システム設定を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。



メニュー

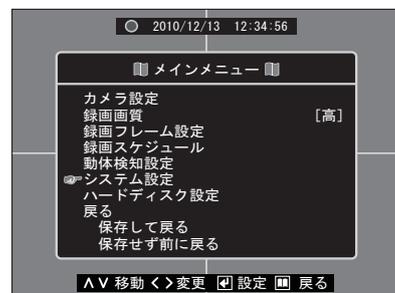
- 7** [メインメニュー] 画面に戻ります。
設定を終了する場合は、▲▼ボタンで[保存して戻る]を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る]を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る]内には[保存して戻る / 保存せず前に戻る]は表示されません。[戻る]を選択して【設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

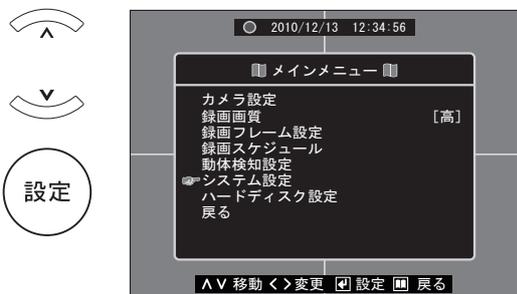


メニュー

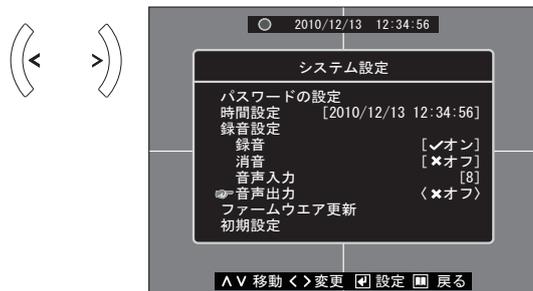


録音設定（音声入力・音声出力）

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 (▲) (▼) ボタンで [システム設定] を選択し、
 【⊕設定】 ボタンを押します。



- 5** 操作**3**と同様に(◀) (▶) ボタンで [オフ] / [1~10] を切り替えます。
 ※数値が大きいほど出力レベルが上がります。

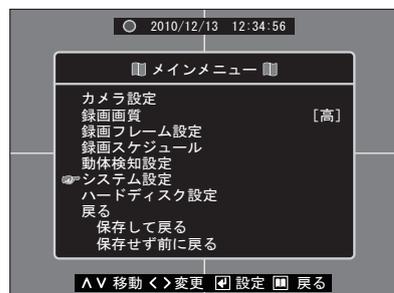


- 6** 続けてシステム設定をすることも可能です。
 システム設定を終了する場合は、【📖メニュー】
 ボタンを押します。

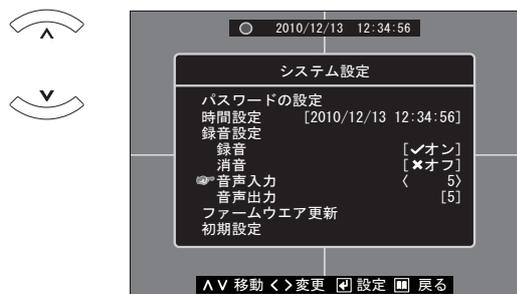


- 7** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 設定を終了する場合は、(▲) (▼) ボタンで [保存して戻る] を選択して【⊕設定】 ボタン
 を押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の
 設定項目の変更をすることも可能です。

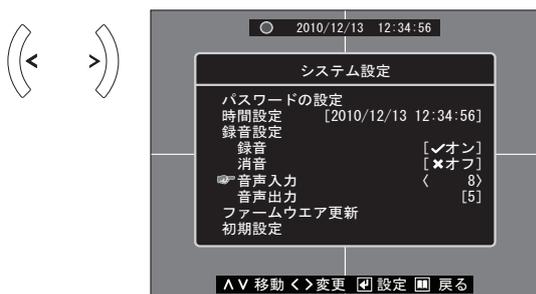
- ※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前
 に戻る] を選択して【⊕設定】 ボタンを押し、
 ライブ画面に戻ります。
 ※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内
 には [保存して戻る / 保存せず前に戻る]
 は表示されません。[戻る] を選択して【⊕
 設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



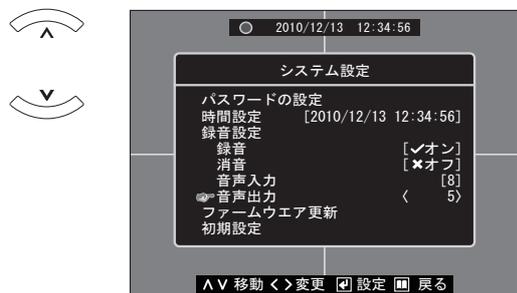
- 2** [システム設定] 画面が表示されます。
 (▲) (▼) ボタンで [音声入力] を選択します。



- 3** 次に(◀) (▶) ボタンで [オフ] / [1~10] を
 切り替えます。
 ※数値が大きいほど入力レベルが上がります。



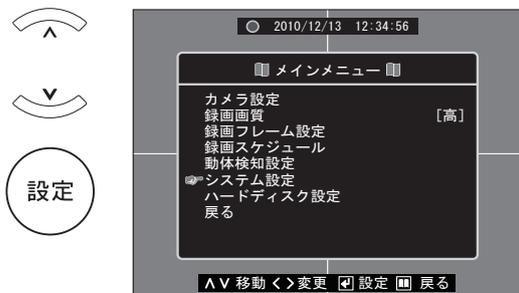
- 4** [音声出力] の場合も同様に (▲) (▼) ボタンで
 [音声出力] を選択します。



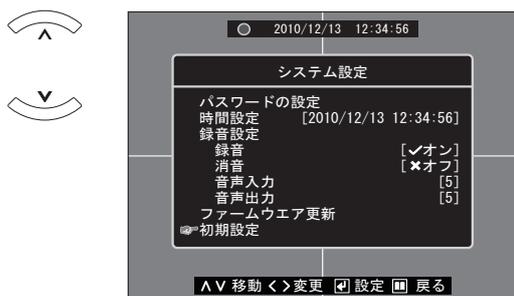
初期設定 《注意》初期設定後、操作を行う前の設定には戻すことができません。

例 すべての設定を初期設定に戻す。

- 1 [メインメニュー] 画面を表示します。
→「メインメニュー画面を表示する」P.17
▲ ▼ ボタンで [システム設定] を選択し、
【設定】 ボタンを押します。

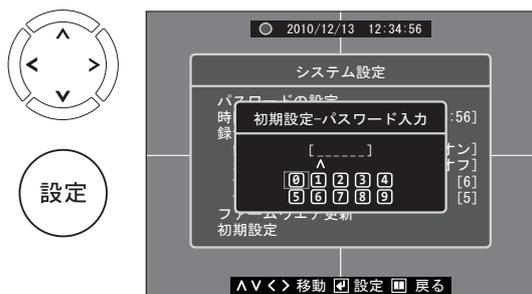


- 2 [システム設定] 画面が表示されます。
▲ ▼ ボタンで [初期設定] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



- 3 [初期設定 - パスワード入力] 画面が表示されます。
▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで [] を移動して数字を選択し、【設定】 ボタンでパスワードを入力していきます。

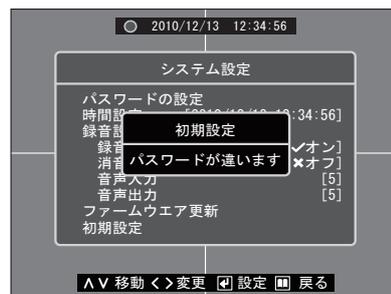
※入力し直す場合は、【メニュー】 ボタンを押して [システム設定] 画面に戻り、操作2からやり直してください。



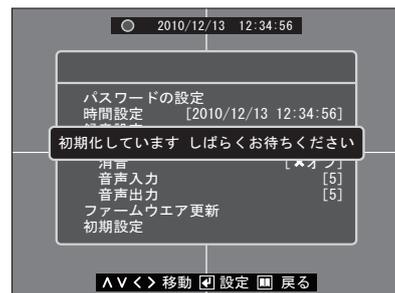
《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います] と表示されます。少しすると自動的に [システム設定] 画面に戻ります。操作2からやり直し、正しいパスワードの入力を行ってください。

※表示中に【メニュー】 ボタンを押しても、[システム設定] 画面に戻ります。



- 4 パスワードを入力すると、自動的に初期設定を開始します。



再起動します。

- 5 再起動後、ライブ画面に戻ります。

《注意》

初期設定をしても現在時刻・ハードディスクは、初期化されません。

初期設定を行った後には、必ず現在時刻を確認して [時間設定] を行ってください。

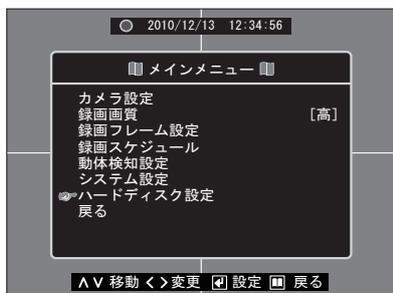
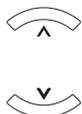
〔設定方法 → [時間設定] P.49〕

■ハードディスク設定

設定項目	初期設定値	設定範囲	設定項目内容の説明
上書き	はい	はい/いいえ	ハードディスク使用率が100%になった際に、古いデータから上書きして録画し続ける(はい)/上書きせずに録画を停止する(いいえ)を設定できます。
モデル	※設定項目ではありません。		ハードディスクの型番です。※設定項目ではありません。
録画開始時間	※設定項目ではありません。		最古の録画データの録画を開始した時間です。 ※[上書き]録画中は、時間が変動します。
録画終了時間	※設定項目ではありません。		最新のデータの最後の録画時間です。 ※録画中は、現在時刻です。
使用容量	※設定項目ではありません。		ハードディスクの総容量に対する使用量です。
標準イベント数	※設定項目ではありません。		イベント(録画開始などの操作)記録可能な総数に対する保存されているイベントの数です。
フォーマット	-		ハードディスクを工場出荷状態に戻す操作です。

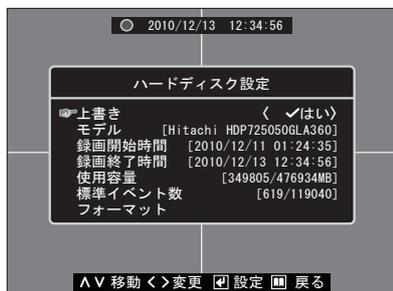
ハードディスク情報の確認

- 1** [メインメニュー] 画面を表示します。
 →「メインメニュー画面を表示する」P.17
 (▲)(▼) ボタンで[ハードディスク設定]を選択し、
 【⊕設定】 ボタンを押します。



- 2** [ハードディスク設定] が表示されます。
 [モデル] / [録画開始時間] / [録画終了時間]
 / [使用容量] / [標準イベント数] を確認
 することができます。

《注意》 設定項目ではありません。



- 3** 続けてハードディスク設定をすることも可能です。
 ハードディスク設定を終了する場合は、
 【Ⓜメニュー】 ボタンを押します。



メニュー

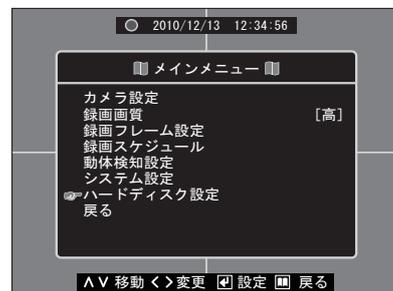
- 4** [メインメニュー] 画面に戻ります。
 設定を終了する場合は、(▲)(▼)ボタンで[保
 存して戻る]を選択して【⊕設定】ボタン
 を押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の
 設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前
 に戻る]を選択して【⊕設定】ボタンを押し、
 ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る]内
 には[保存して戻る/保存せず前に戻る]
 は表示されません。[戻る]を選択して【⊕
 設定】ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー



上書き 《注意》上書きしない設定にした場合、ハードディスクがいっぱいになると録画は停止します。

《注意》

[上書き] を [いいえ] に設定すると、ライブ画面上にハードディスク使用率が表示されます。ハードディスク使用率が 100% になると、録画は自動的に停止します。

また、ハードディスク使用率が 100% で録画が停止している状態から、再び [上書き] を [はい] に設定変更しても録画を開始しません。

【録画】 ボタンを押して録画を開始させてください。

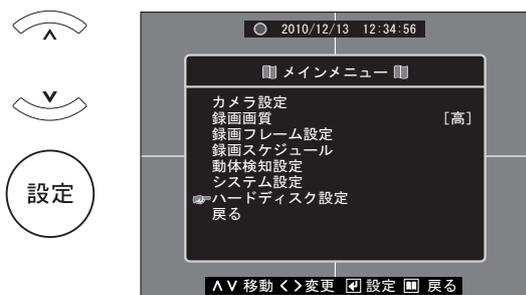
例 保存されたデータを上書きしないように変更する

1

[メインメニュー] 画面を表示します。

➔「メインメニュー画面を表示する」P.17

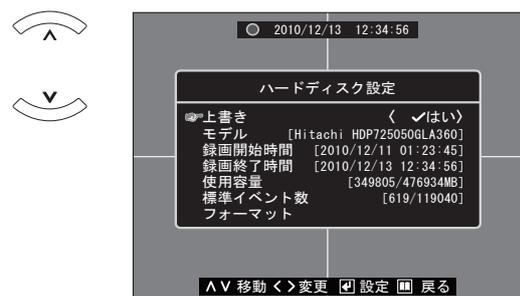
▲▼ ボタンで [ハードディスク設定] を選択し、【設定】 ボタンを押します。



2

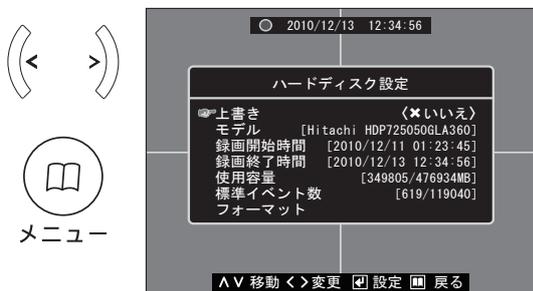
[ハードディスク設定] が表示されます。

▲▼ ボタンで [上書き] を選択します。



3

次に◀▶ ボタンで [いいえ] に切り替えます。続けてハードディスク設定をすることも可能です。ハードディスク設定を終了する場合は、【メニュー】 ボタンを押します。



4

[メインメニュー] 画面に戻ります。

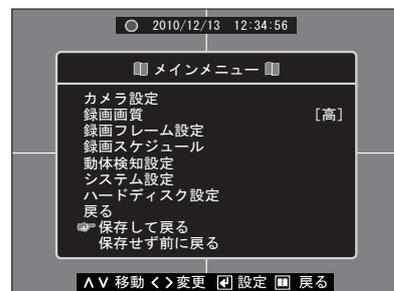
設定を終了する場合は、▲▼ ボタンで [保存して戻る] を選択して【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。続けて他の設定項目の変更をすることも可能です。

※設定をキャンセルする場合は、[保存せず前に戻る] を選択して【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。

※設定の変更を行っていない場合、[戻る] 内には [保存して戻る / 保存せず前に戻る] は表示されません。[戻る] を選択して【設定】 ボタンを押し、ライブ画面に戻ります。



メニュー



4

各項目の設定

ハードディスク設定 ■ 上書き

フォーマット 《注意》フォーマットした場合、データはすべて消去されます。元に戻すことはできません。

例 保存されているデータをすべて消去する。

1

※ハードディスクをフォーマットする場合は、録画を停止して操作する必要があります。
【●停止】ボタン、または【●録画】ボタンを押します。

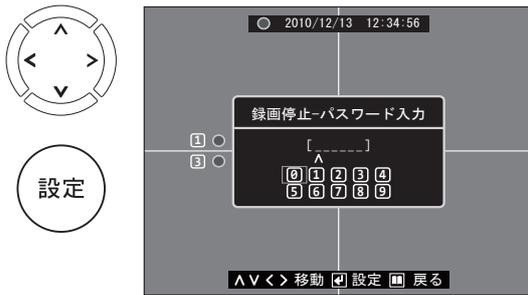


2

【録画停止-パスワード入力】画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンで[□]を移動して数字を選択し、【⊖設定】ボタンでパスワードを入力していきます。

※パスワードの初期設定値「000000」

※入力し直す場合は、【⊕メニュー】ボタンを押してライブ画面に戻り、最初からやり直してください。



4

各項目の設定

ハードディスク設定 ■ フォーマット

《誤ったパスワードを入力した場合》

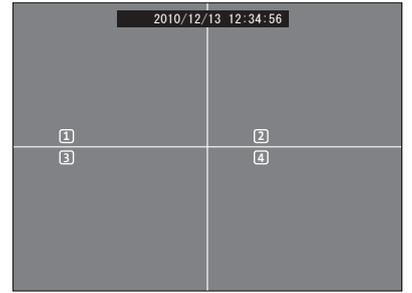
【パスワードが違います】と表示されます。少しすると自動的にライブ画面に戻ります。最初からやり直し、正しいパスワードの入力を行ってください。

※表示中に【⊕メニュー】ボタンを押しても、ライブ画面に戻ります。



3

パスワードを入力すると録画が停止します。ライブ画面の録画待機状態マークの表示が消えていることを確認してください。

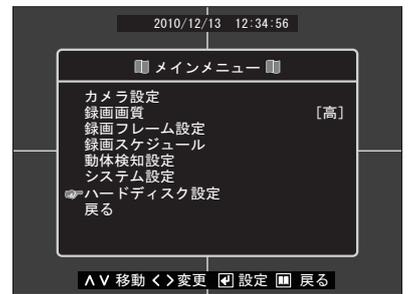


4

【メインメニュー】画面を表示します。

→「メインメニュー画面を表示する」P.17

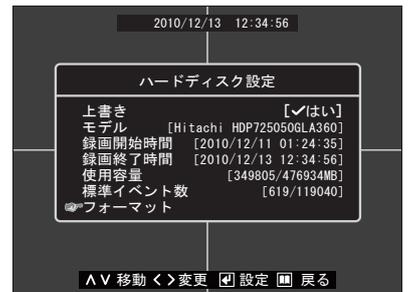
▲▼ボタンで【ハードディスク設定】を選択し、【⊖設定】ボタンを押します。



5

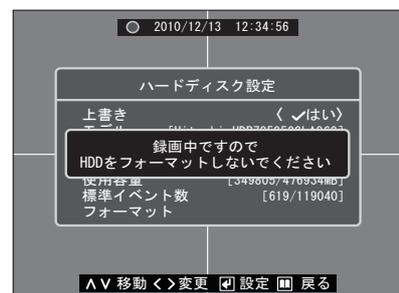
【ハードディスク設定】画面が表示されます。

▲▼ボタンで【フォーマット】を選択し、【⊖設定】ボタンを押します。



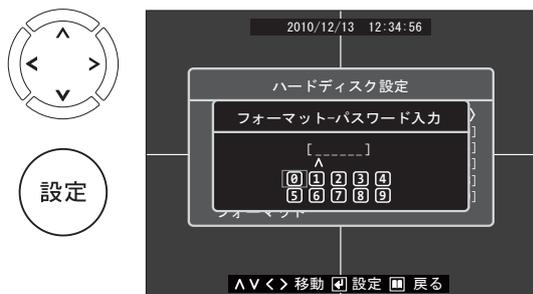
《録画を停止せずに操作した場合》

【録画中ですのでHDDをフォーマットしないでください。】と表示されます。少しすると自動的に【ハードディスク設定】画面に戻ります。操作1からやり直してください。



6 [フォーマット-パスワード] 入力画面が表示されます。▲▼◀▶ボタンで[□]を移動して数字を選択し、【設定】ボタンでパスワードを入力します。

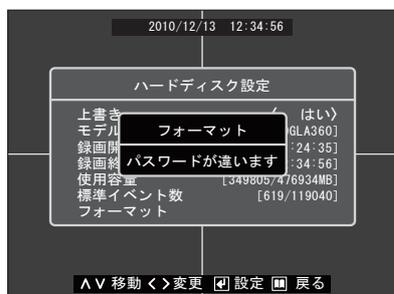
※入力し直す場合は、【メニュー】ボタンを押して[ハードディスク設定]画面に戻り、操作⑤からやり直してください。



《誤ったパスワードを入力した場合》

[パスワードが違います] と表示されます。少しすると自動的に[ハードディスク設定]画面に戻ります。操作⑤からやり直し、再度、正しいパスワードの入力を行ってください。

※表示中に【メニュー】ボタンを押しても、[ハードディスク設定]画面に戻ります。

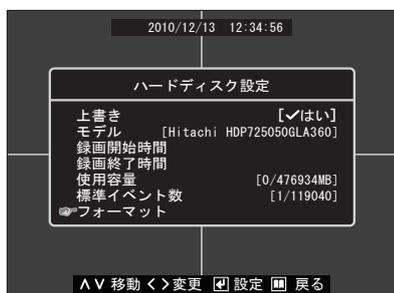


7 パスワードを入力すると、自動的にフォーマットを開始します。フォーマットが終了すると、[ハードディスク設定]画面に戻ります。この時点で[使用容量]は、分子の数値が[0]になっています。

続けてハードディスク設定をすることも可能です。ハードディスク設定を終了する場合は、【メニュー】ボタンを押します。

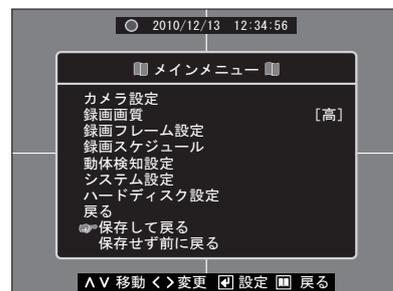


メニュー



8 [メインメニュー]画面に戻ります。

▲▼ボタンで[戻る]を選択し、【設定】ボタンを押して、ライブ画面に戻ります。



9 ライブ画面にもどったら、【録画】ボタンを押します。

録画(録画待機状態)がスタートします。

必ずライブ画面上の「録画待機状態」マークが点灯したかを確認してください。



録画

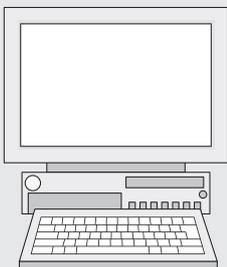


《注意》

実際に録画を開始した場合は、カメラごとの録画中マークが表示され、本体前面の録画ランプが点灯します。

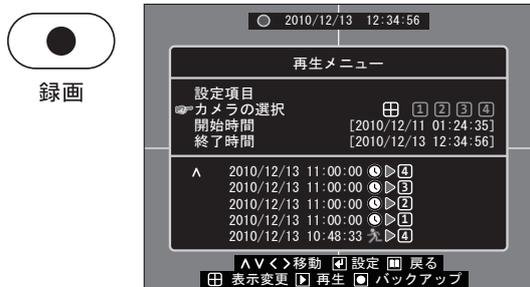
パソコンで再生する

パソコンで再生するために作成するバックアップデータには、指定した時間内に録画されたすべてのカメラのデータがバックアップされます。

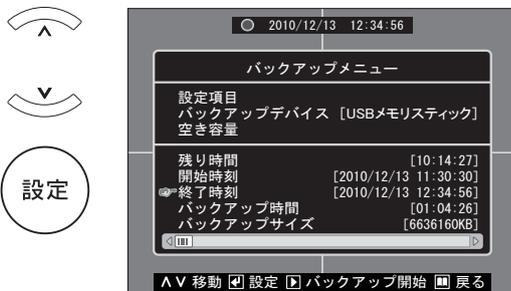


データをバックアップする

1 ★あらかじめ再生操作を行い、バックアップする日時をご確認ください。→「再生する」P.25 [再生メニュー (リストのみの画面も可)] 画面で、【●録画】 ボタンを押します。

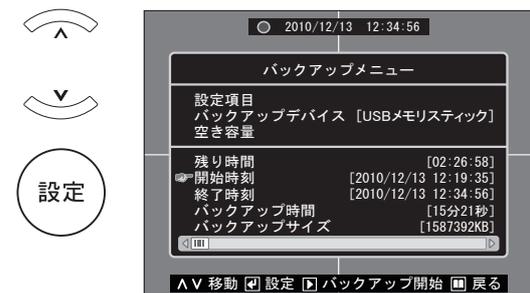


5 [バックアップメニュー] 画面に戻ります。同じく、▲▼ボタンで[終了時刻]に移動し、【設定】 ボタンを押します。

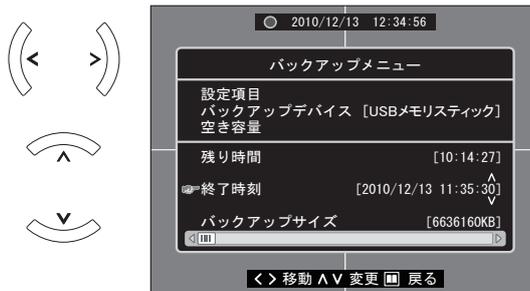


2 [バックアップメニュー] 画面が表示されます。▲▼ボタンで[開始時刻]を選択し、【設定】 ボタンを押します。

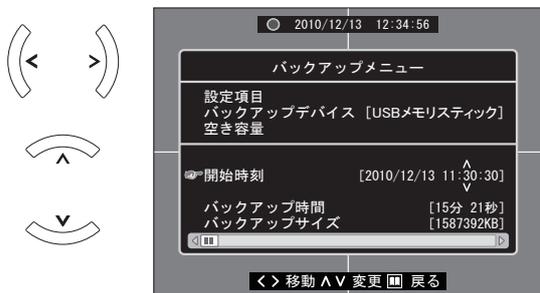
※【Ⓜメニュー】 ボタンを押すと、[再生メニュー] 画面に戻ります。



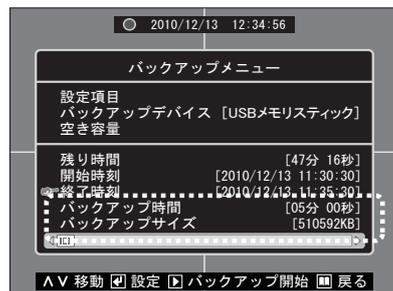
6 [終了時刻] 設定状態になります。◀▶ボタンでバックアップを終了したい日時の数値に◇マークを合わせて、▲▼ボタンで数字を切り替えていきます。



3 [開始時刻] 設定状態になります。◀▶ボタンでバックアップを開始したい日時の数値に◇マークを合わせて、▲▼ボタンで数字を切り替えていきます。



7 [バックアップメニュー] 画面に戻ります。[バックアップ時間 (開始時刻から終了時刻までの時間)] と [バックアップサイズ] を確認してください。



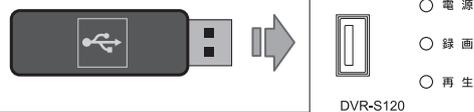
4 [開始時刻] を合わせたら、【Ⓜメニュー】 ボタンを押します。

メニュー

【注意】

録画データが存在しない日時を指定すると、元の [開始時刻] のまま [バックアップメニュー] 画面に戻ります。[終了時刻] の場合も同様です。再度、指定し直してください。

8 [バックアップサイズ] に表示されている容量以上の空容量のある USB メモリ (2GB まで) を本体前面に差し込みます。



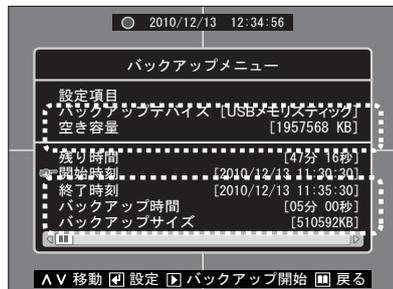
【注意】

容量 2GB を超えたもの。セキュリティソフト等の入った USB メモリはご使用にならないでください。本機の動作が停止する場合があります。

《注意》

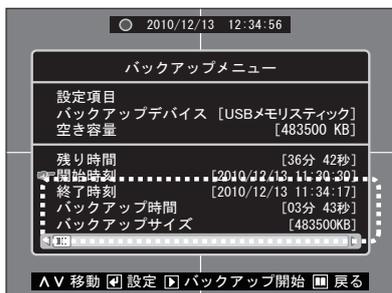
操作手順の操作 8 USB メモリの読み込み処理中、また、操作 10 実行後のバックアップ処理 [ファイルを固定しています] 表示中には、録画されていない数秒の時間があります。

9 USB メモリの [空き容量] が表示されます。
[空き容量]、[終了時間]、[バックアップ時間]、
[バックアップサイズ] 表示をご確認ください。

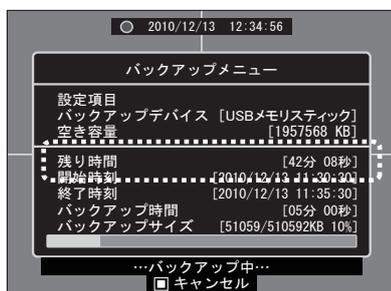
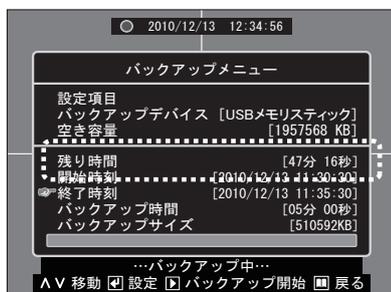


《注意》

USB メモリの [空き容量] が [バックアップサイズ] よりも少ない場合は、USB メモリの [空き容量] にあわせて自動的に [終了時間]、[バックアップ時間]、[バックアップサイズ] 表示が変わります。
時間を再設定する場合は、操作 8 からやり直してください。

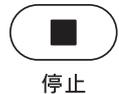


10 【▶再生】 ボタンを押して、バックアップを開始します。
[残り時間] には、バックアップを終了するまでに必要なおおよその時間が表示されます。

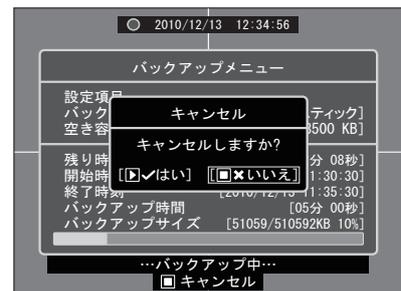
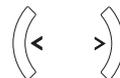


《バックアップをキャンセルする場合》

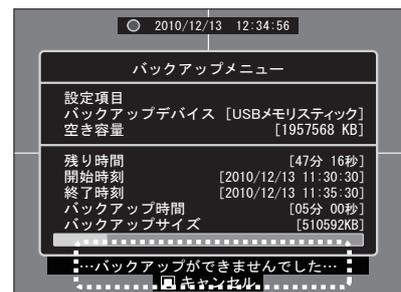
バックアップを進行途中でキャンセルする場合は、バックアップ中に【⏏停止】ボタンを押します。



[キャンセル] 確認画面が表示されます。◀ ▶ ボタンで [はい] を選択して【⚙設定】 ボタンを押します。
※バックアップを継続する場合は、[いいえ] を選択して【⚙設定】 ボタンを押します。

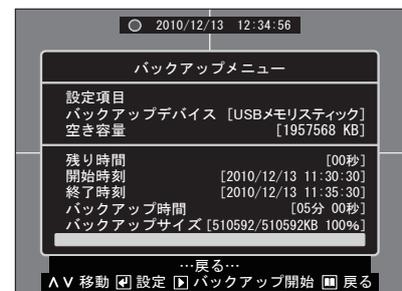


バックアップを停止して [バックアップメニュー] 画面の下に [バックアップができませんでした] と表示されます。



※キャンセルした場合でも USB メモリ内にデータが作成されますが、再生することはできません。
パソコン上で消去してください。

11 バックアップを終了すると、画面に [戻る] が点滅表示されます。
※ [戻る] が点滅表示されるまでは次の操作ができません。



12



バックアップを終了するときには、【⏏メニュー】 ボタンを押します。

USB メモリには、自動的に「.VVF」
拡張子のデータが保存されています。

バックアップデータの再生

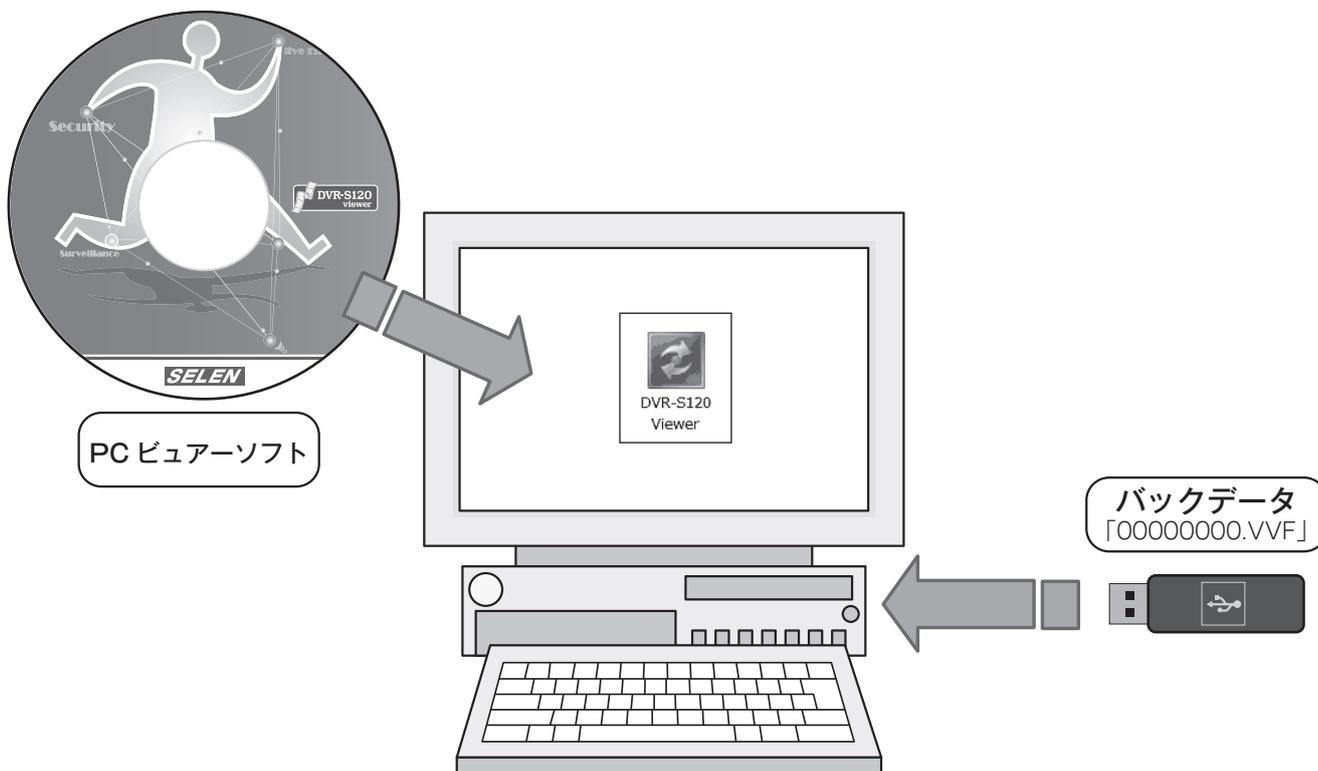
本書で説明するソフトウェアは、「使用許諾契約条項」P.9に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。

パソコンの推奨動作環境

PC	Windows 機
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista (32bit 版のみ)、Windows 7 (32bit 版のみ)
CPU	Pentium4 2.4GHz 以上を推奨
メモリ	512MB 以上を推奨 (Windows Vista、Windows 7 の場合は 1GB 以上を推奨)

パソコンの準備

- ① 付属の CD にある「DVR-S120Viewer」をパソコンのデスクトップ等にコピーします。
※ CD をパソコンに入れると autorun で立ち上がります。ソフトをコピーせずに使用することも可能です。
- ② USB メモリにバックアップしたデータをパソコンのデスクトップ等にコピーします。

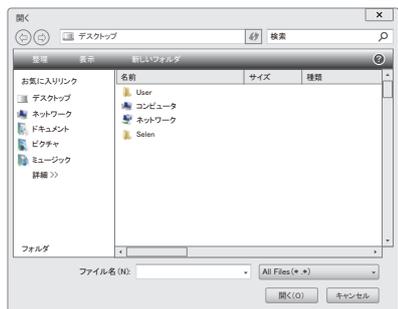


パソコンでの再生方法

- 1** パソコンにコピーした「DVR-S120Viewer」のアイコンをダブルクリックすると、初期画面が表示されます。「ファイルを開く」を押します。



- 2** パソコンにコピーした「.VVF」データを選択して、「開く」を押します。



- 3** 「DVR-S120Viewer」の画面上で再生がスタートします。別のファイルを再生する場合は、再度 **1** から操作します。終了する場合は、「閉じる」を押します。



《簡単に単一画面と4分割画面の切り替える方法》
4分割画面の時に、単一画面表示させたいカメラの映像の上でダブルクリックすると、単一画面に切り替わります。単一画面で表示している映像の上でダブルクリックすると、4分割画面に切り替わります。

操作ボタンについて

ボタン表示	ボタン名
	AVI
	最小化
	閉じる
	ファイルを開く
	早戻し再生 (3段階)
	戻し再生

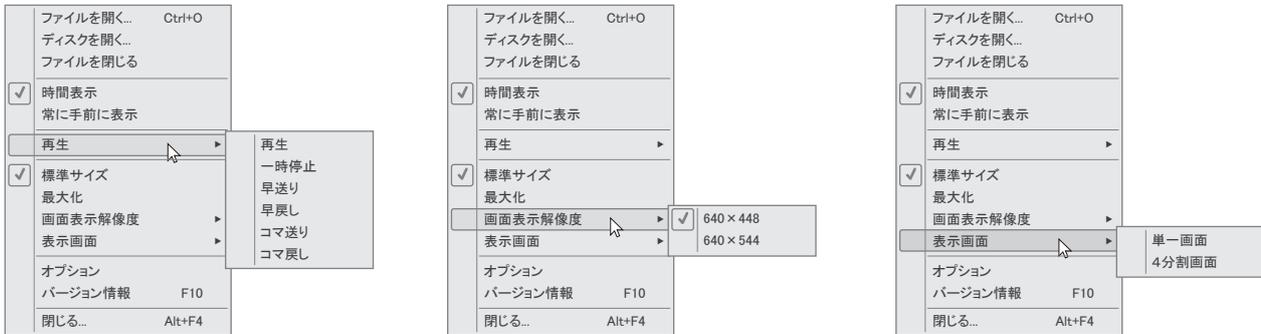
ボタン表示	ボタン名
	コマ戻し再生
	一時停止
	コマ送り再生
	再生
	早送り再生 (3段階)
	静止画保存

ボタン表示	ボタン名
	単一画面
	4分割画面
	ミュート
	音量

バックアップデータの再生

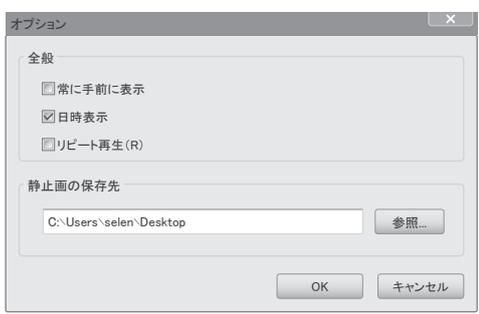
右クリック操作項目

「DVR-S120Viewer」の画面上で、マウスの右クリックをすると様々な設定項目が表示されます。表示の内容は、下記表の通りです。



表示		内容
ファイルを開く		再生するデータを選択します。
ディスクを開く		(製造時に使用する項目です。ユーザー様はご使用になれません。)
ファイルを閉じる		再生している映像を停止して、初期画面に戻ります。
時間表示		カメラの画面ごとに時間を表示することができます。
常に手前に表示		常にパソコン画面上の一番手前に表示します。
再生	再生	選択しているデータを再生します。
	一時停止	選択しているデータを一時停止します。
	早送り	選択しているデータを早送り再生します。
	早戻し	選択しているデータを早戻し再生します。
	コマ送り	選択しているデータをコマ送り再生します。
	コマ戻し	選択しているデータをコマ戻し再生します。
標準サイズ		標準のサイズで「DVR-S120Viewer」を表示します。
最大化		パソコンの全画面で「DVR-S120Viewer」を表示します。
画面表示画素数	640 × 448	それぞれの解像度で、映像を表示します。
	640 × 544	
表示画面	単一画面	映像を単一画面で表示します。繰り返し選択することで、カメラが①→②→③→④の順に切り替わります。
	4分割画面	映像を4分割画面で表示します。
オプション		オプション画面を表示します。P.65をご確認ください。
バージョン情報		本ソフトのバージョンを確認できます。
閉じる		「DVR-S120Viewer」を閉じます。

右クリック操作項目（オプション内）



表示	内容
常に手前に表示	常にパソコン画面上の手前に表示します。
日時表示	初期画面中央の下に再生している映像の日時を表示します。
リピート再生	映像を繰り返し再生します。
静止画の保存先	静止画ボタンを押した時に、静止画データを保存するパソコン上の場所を設定できます。

静止画データの作成

◆「DVR-S120Viewer」上の画面を BMP（ビットマップ）形式の画像として作成することができます。

1 「.VVF」データを再生状態にします。
 （操作方法→「パソコンでの再生方法」P.63）

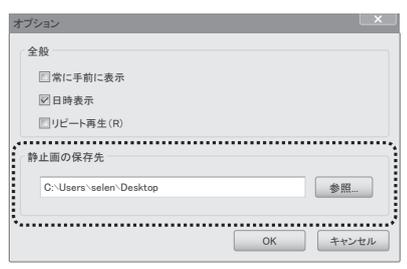


3 【静止画保存】ボタンを押します。
 押した時の画面が操作2で指定された場所へBMP（ビットマップ）形式の画像として保存されます。
 ※一時停止して操作すると、映像の静止画にしたい瞬間を逃さずに作成できます。



《注意》
 静止画の作成は、画面に見えている映像がそのまま画像として保存されます。単一画面で表示している場合は、単一画面で保存されます。

2 上記の「右クリック操作項目」の「静止画の保存先」で保存したいパソコンの場所を指定します。
 ※保存したいパソコンの場所には、あらかじめフォルダを作成しておくとう便利です。



AVI 形式データの作成

録画データを AVI 形式に変換して保存する

◆ AVI ファイル形式で保存したデータは、他のパソコンソフトで再生できます。

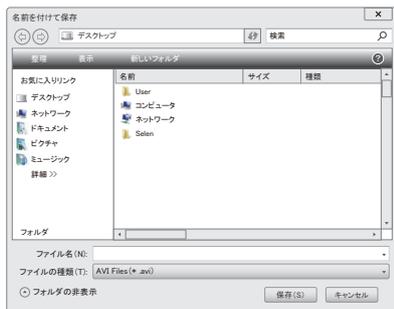
- 1** 「.VVF」データを再生状態にします。
〔操作方法→「パソコンでの再生方法」P.63〕
AVI 形式保存を開始したい時間で一時停止させ、【AVI】ボタンを押します。



《注意》

AVI 変換は、画面に見えている映像がそのまま保存されます。単一画面に切り替えたり、早送り再生や戻し再生等した場合もそのように保存されます。

- 2** 「名前を付けて保存」画面が表示されます。
保存するデータ名、保存先を指定して、[保存]を押します。



- 3** 「ビデオの圧縮」画面が表示されます。
【全フレーム(未圧縮)】を選択して [OK] を押してください。

※その他の圧縮方式も選択可能ですが、パソコンの映像再生に詳しい方に選択をお願いします。



- 4** 映像を AVI 形式に変換保存しながら再生を開始します。
[AVI] ボタンの表示が変わります。



- 5** 変換を終了する時は、再度 [AVI] ボタンを押します。
※再生は継続されていますので、停止操作を行ってください。

《注意》

AVI ファイルに変換中は、再生画面の動きや音声 が乱れますが、故障ではありません。

その他

故障かな?と思ったら...

「故障かな?」と思ったらときは、まず次の〔症状/原因と処置〕をよくお読みになり、接続や設定に間違いがないことをご確認ください。

症状	原因と処置
電源が入らない	◇ 電源ケーブルや AC アダプターが確実に接続されていますか? ⇒ 接続を確認してください。
	◇ 専用の電源ケーブルと専用の AC アダプターをご使用ですか? ⇒ 専用の電源ケーブルと専用 AC アダプターをご使用ください。
モニター・テレビに映像が出ない	◇ 本製品の映像出力からモニター・テレビの「外部入力」に映像ケーブルがきちんと接続されていますか? ⇒ 接続を確認してください。
	◇ モニター・テレビのチャンネルは「外部入力」になっていますか? ⇒ モニター・テレビのチャンネルを確認してください。 注) 接続される機器の操作につきましては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
ライブ画面がモニター・テレビに表示されない	◇ カメラはきちんと接続されていますか? ⇒ カメラの接続を確認してください。(カメラの電源を含む)
	◇ 再生画面になっていませんか? ⇒ 【●停止】 ボタンを押して、ライブ画面にしてください。
	◇ カメラ設定の [カメラ機能] が [オフ] または [ライブ画面を隠す] が [はい] になっていませんか? ⇒ [カメラ機能]、[ライブ画面を隠す] の設定を確認してください。 (設定方法⇒ [カメラ設定] P.32)
カメラ映像がぼやける (夜になると白くなる)	◇ カメラのレンズにごみやほこり、水滴などが付着していませんか? ⇒ カメラの前面を確認してください。
録画できない	◇ カメラを接続しているチャンネルのカメラ設定の [カメラ機能] または [録画] が [オフ] になっていませんか? ⇒ カメラ設定の [カメラ機能] または [録画] 設定を [オン] にしてください。 (設定方法⇒ [カメラ設定⇒録画] P.32)
	◇ ライブ画面上の「録画待機状態」マークは表示されていますか? ⇒ 【●録画】 ボタンを押してください。(参考⇒ 「録画の停止・再開について」 P.32)
	⇒ カメラごとに設定できる項目があります。 それぞれの設定をご確認ください。
	◇ スケジュールは正しく設定されていますか? ([-: 録画しない] 設定になっていませんか?) ⇒ [録画スケジュール] 設定を確認してください。(設定方法⇒ [録画スケジュール] P.40)
	◇ ハードディスク設定の [上書き] 設定が [いいえ] になっていませんか? ⇒ ハードディスク設定の [上書き] が [いいえ] になっていると、ハードディスクの使用率が 100% になった時点で録画をストップします。[上書き] を [はい] に設定して、【●録画】 ボタンを押してください。(設定方法⇒ [ハードディスク設定⇒上書き] P.55)
動体検知設定をしているが、カメラの映像が動いても録画しない	◇ [録画スケジュール] は [M: 動体検知録画] になっていますか? ⇒ [録画スケジュール] で、設定する時間帯の録画設定を [M: 動体検知録画] にしてください。(設定方法⇒ [録画スケジュール] P.40)
	◇ 動体検知設定の [動体検知範囲] で検知したい場所が設定されていますか? ⇒ 動体検知設定の [動体検知範囲] で検知したい範囲を設定をしてください。 (設定方法⇒ [動体検知] P.42)

症状	原因と処置
録画されていない時間がある	◇ USBメモリにバックアップをする際、録画できない時間が数秒間あります。 データ処理上の問題ですので、故障ではありません。
断線検知マークが表示される	◇ カメラは正しく接続されていますか？ ⇒ カメラの接続を確認してください。
	◇ 接続していないカメラのカメラ設定の [カメラ機能] が [オン] になっていませんか？ ⇒ カメラを接続していないチャンネルの [カメラ機能] を [オフ] にしてください。 〔設定方法⇒ [カメラ設定⇒カメラ機能] P.32〕
	◇ 接続や設定に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店にご相談ください。
[上書き] 設定を [いいえ] にしても録画が継続される	◇ ハードディスク使用率が 100%未満である。 ⇒ [上書き] 設定を [いいえ] にした場合、ハードディスク使用率が 100%になった時に録画が停止します。また、上書き録画をしている途中で [いいえ] に変更しても、ハードディスク使用率が 100%になるまで録画は継続します。 〔設定方法⇒ [ハードディスク設定⇒上書き] P.55〕
パスワードを入力したのにメニュー画面に入れない	◇ 入力したパスワードに誤りはありませんか？ ⇒ 正確にパスワードを入力してください。 (注：工場出荷時は「000000」に設定されています。)
パスワードを忘れてしまった	⇒ 販売店にご相談ください。
早再生/戻り再生中に映像が乱れるようになる	◇ 記録されたデータを高速処理しているため、映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
日時指定再生画面で時間を指定したが、その時間から再生できない	◇ 録画されている時間帯を指定していますか？ ⇒ 指定した時刻に録画データが無い場合は、直後のデータを再生します。
音声入力に接続しているが、録音されない	◇ システム設定の [録音] の設定が、[オフ] になっている。 ⇒ システム設定の [録音] の設定を、[オン] にしてください。 〔設定方法⇒ [システム設定⇒録音] P.50〕
音声入力に接続して録音した録画データを再生すると映像がスムーズに再生されない	◇ 音声録音された映像を再生すると、条件によっては映像がスムーズに再生されなかったり、音が途切れたり、止まったりする場合がありますが、故障ではありません。
電源コードの被ふくが傷んでいる	⇒ 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが傷んでいる可能性があります。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
使用中、電源コード・電源プラグ・ACアダプターの一部が熱い	
使用中電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったりぬるくなったりする	

主な仕様

項目	仕様
型式	DVR-S120
電源	専用 AC アダプター 入力：AC100V (50/60Hz) 出力：DC12V
消費電力	約 15W ※カメラ 4 台接続で録画状態の安定時
使用温度範囲	約+ 5 ~約+ 40℃
使用湿度範囲	約 80%以下
外形寸法	223mm (W) × 292mm (D) × 53mm (H) ※突起物含まず
質量	約 2.0kg (本体のみ・AC アダプター含まず)
映像入力	4 系統 (BNC)
映像出力	2 系統 (BNC)
	1 系統 (VGA)
音声入力	1 系統 (RCA)
音声出力	1 系統 (RCA)
圧縮方式	M-JPEG
記録媒体	HDD (500GB)
録画フレーム	チャンネルごとに 1 ~ 30 フレームの範囲で設定可能 ※録画フレーム総数が 60 フレームまで
バックアップメディア	USB メモリ (2.0/1.1) ※ 2GB までウイルスソフト等が入っていない製品
リモコン電池	ボタン電池 (CR2025)

SELEN

株式会社セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋 1-11-6 相馬ビル

Tel : 03-5911-1045

Fax : 03-5911-1046

E-mail : info@selenguard.com

URL : <http://www.selenguard.com>